

第2回 南幌町介護保険事業計画策定委員会

日 時：令和2年9月10日（木） 午後4時00分～

場 所：南幌町保健福祉総合センターあいくる

1階あいくるホール

1 開 会

2 委員長挨拶

3 協議(報告)事項

(1) 日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護調査・その他調査結果について（資料1～5）

(2) 第8期介護保険事業計画の基本方針（案）について（資料6）

(3) 総人口推計について（資料7）

4 そ の 他

5 閉 会

第8期 日常生活圏ニーズ調査 集計・分析 結果報告書

調査の概要

- 目的

この調査は第8期介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者の生活実態や地域活動への参加状況や意向、その他高齢者全般における地域の抱える課題を把握することを目的とする。（総合事業の評価にも活用）
- 実施期間

令和2年2月～4月（約3カ月間）
- 対象者

65歳以上の高齢者で、要介護1から要介護5以外のご自宅にお住まいの方を対象として調査を実施。2,170人
- 調査方法

◎一般高齢者 ～ 一部、老人会開催時に保健福祉課職員が聞き取り調査。
上記以外の対象者については郵送で調査を実施

◎介護事業予防参加者 ～ 快足シャキット倶楽部（あいくる・ふれあい館）及び男の料理教室の実施時に保健福祉課職員が調査票を配布し依頼
- 回答者数

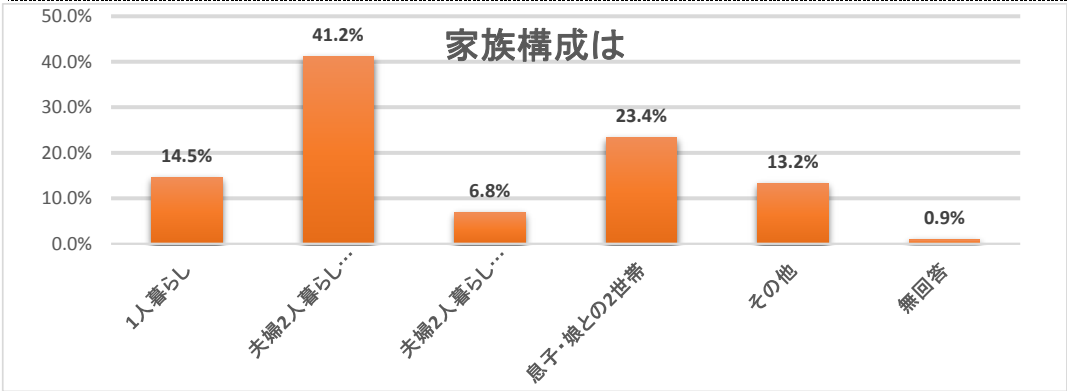
1,364人 提出率 62.9%

問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1 家族構成は 《回答者数：1,352人》

項目	1人暮らし	夫婦2人暮らし 配偶者65歳以上	夫婦2人暮らし 配偶者64歳以下	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
人数	198人	562人	93人	319人	180人	12人
割合	14.5%	41.2%	6.8%	23.4%	13.2%	0.9%

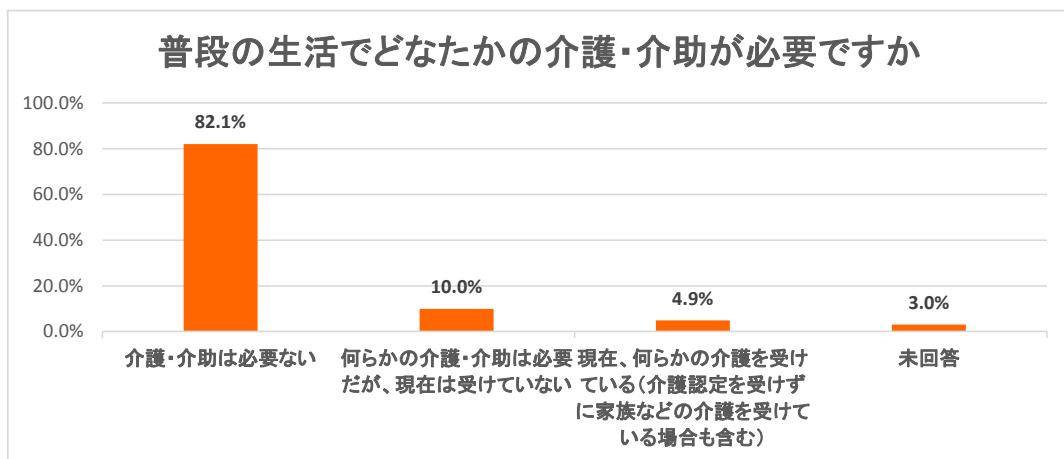
1人暮らしの方は14.5%であり、その他と無回答を除くと71.4%の方が同居されている。



Q2 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか 《回答者数：1,323人》

	人数	割合
介護・介助は必要ない	1120人	82.1%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	136人	10.0%
現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	67人	4.9%
未回答	41人	3.0%

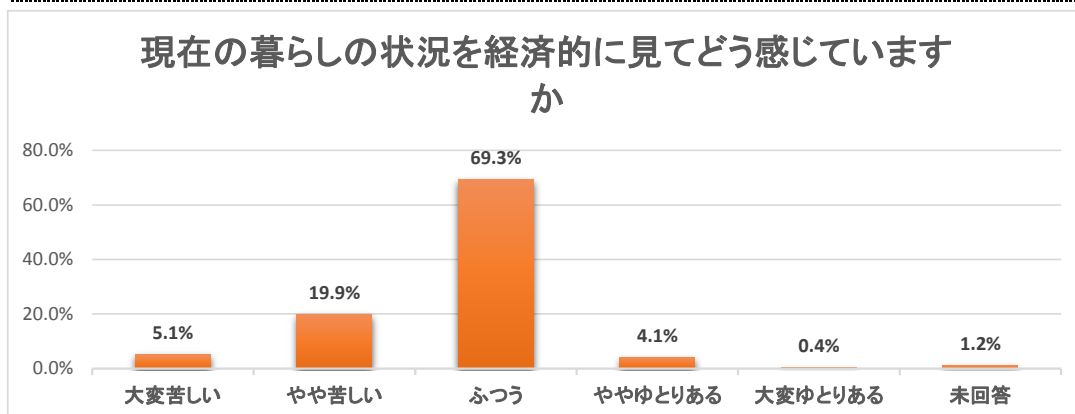
10.0%の方が「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」となっている。



Q 3 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか 《回答者数：1,347人》

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりある	大変ゆとりある	未回答
人数	69人	272人	945人	56人	5人	17人
割合	5.1%	19.9%	69.3%	4.1%	0.4%	1.2%

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせて25.0%となっており、反対に「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせると4.5%程度に留まっている。

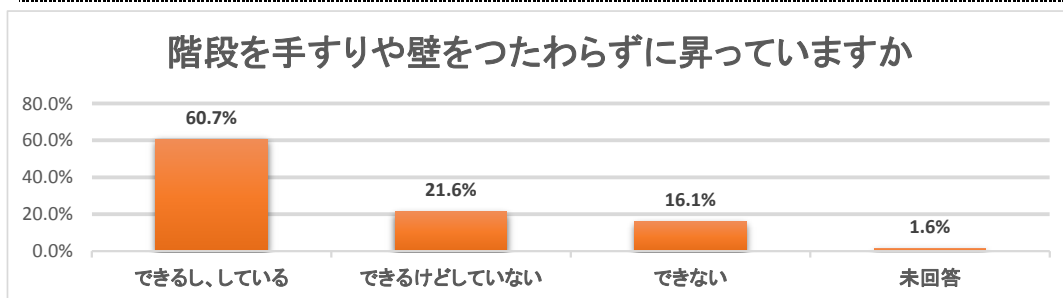


問 2 からだを動かすことについて

Q 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか 《回答者数：1,342》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	828人	294人	220人	22人
割合	60.7%	21.6%	16.1%	1.6%

16.1%の方が「できない」、21.6%の方は「できるけどしていない」状況となっている。

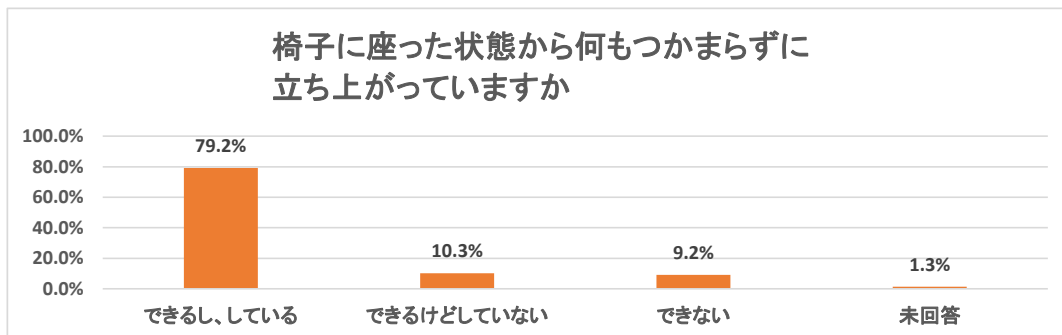


Q 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

《回答者数：1,346人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	1080人	140人	126人	18人
割合	79.2%	10.3%	9.2%	1.3%

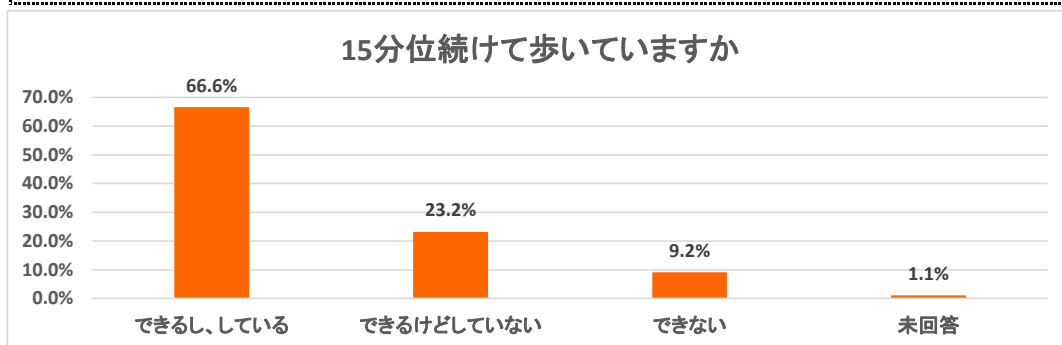
9.2%の方が「できない」、10.3%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 3 15分位続けて歩いていますか 《回答者数：1,349人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	908人	316人	125人	15人
割合	66.6%	23.2%	9.2%	1.1%

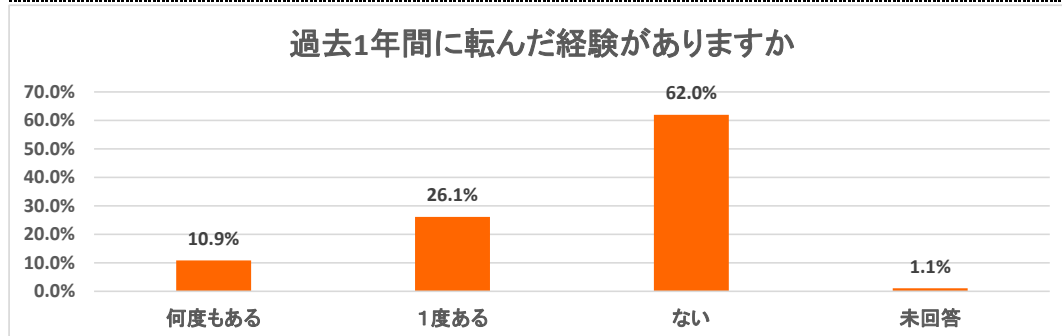
9.2%の方が「できない」、23.2%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 4 過去1年間に転んだ経験がありますか 《回答者数：1,349人》

	何度もある	1度ある	ない	未回答
人数	148人	356人	845人	15人
割合	10.9%	26.1%	62.0%	1.1%

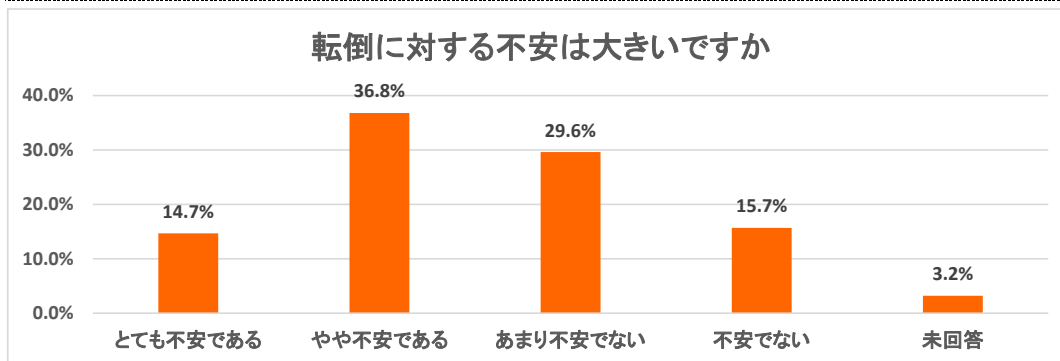
10.9%の方が「何度もあり」、26.1%の方は「1度ある」状況となっている。



Q 5 転倒に対する不安は大きいですか 《回答者数：1,320人》

	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	未回答
人数	200人	502人	404人	214人	44人
割合	14.7%	36.8%	29.6%	15.7%	3.2%

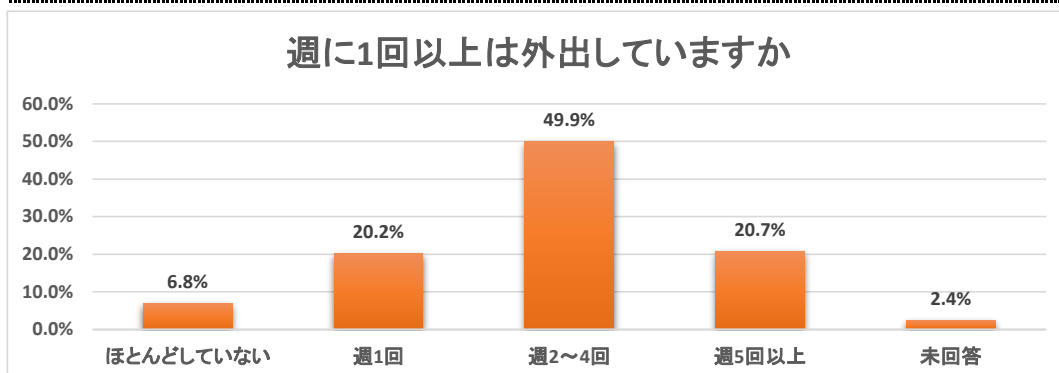
「とても不安である」と「やや不安である」合わせて51.5%となっており、半数以上の方が転倒への不安がある状況となっている。



Q 6 週に1回以上は外出していますか 《回答者数：1,331人》

	ほとんどしていない	週1回	週2～4回	週5回以上	未回答
人数	92人	276人	681人	282人	33人
割合	6.8%	20.2%	49.9%	20.7%	2.4%

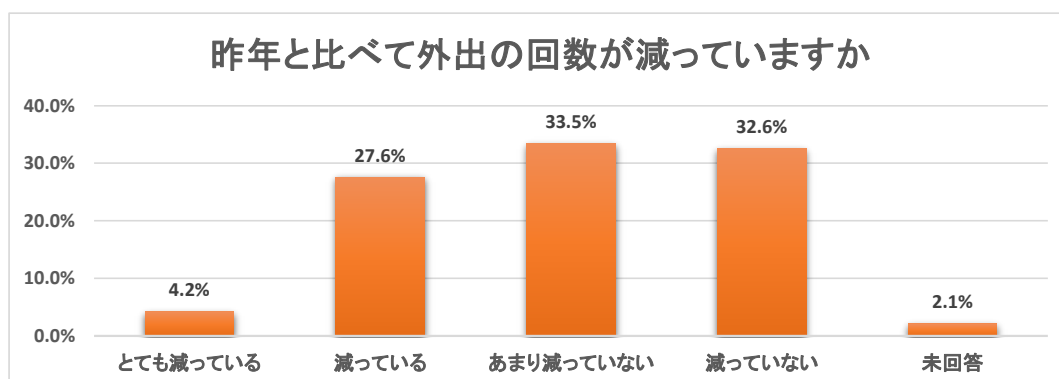
6.8%の方が「ほとんど外出しない」状況となっている。



Q 7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか 《回答者数：1,335人》

	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	未回答
人数	57人	377人	457人	444人	29人
割合	4.2%	27.6%	33.5%	32.6%	2.1%

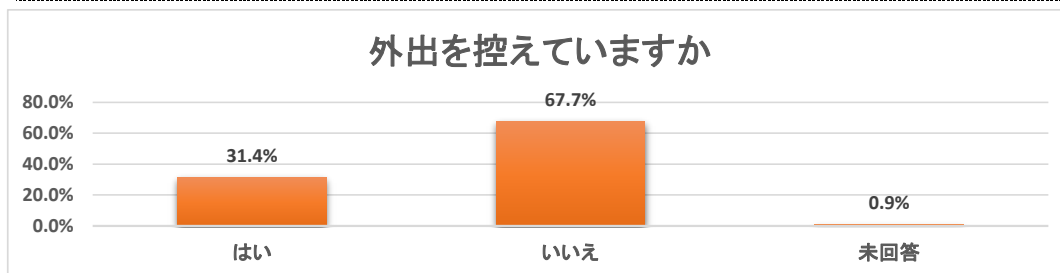
4.2%の方が「とても減っている」、27.6%の方が「減っている」状況となっており、新型コロナウイルス感染症の影響もあると考える。



Q 8 外出を控えていますか 《回答者数：1,352人》

	はい	いいえ	未回答
人数	428人	924人	12人
割合	31.4%	67.7%	0.9%

31.4%の方が「外出を控えている」状況となっており、新型コロナウイルスの影響もあると考える



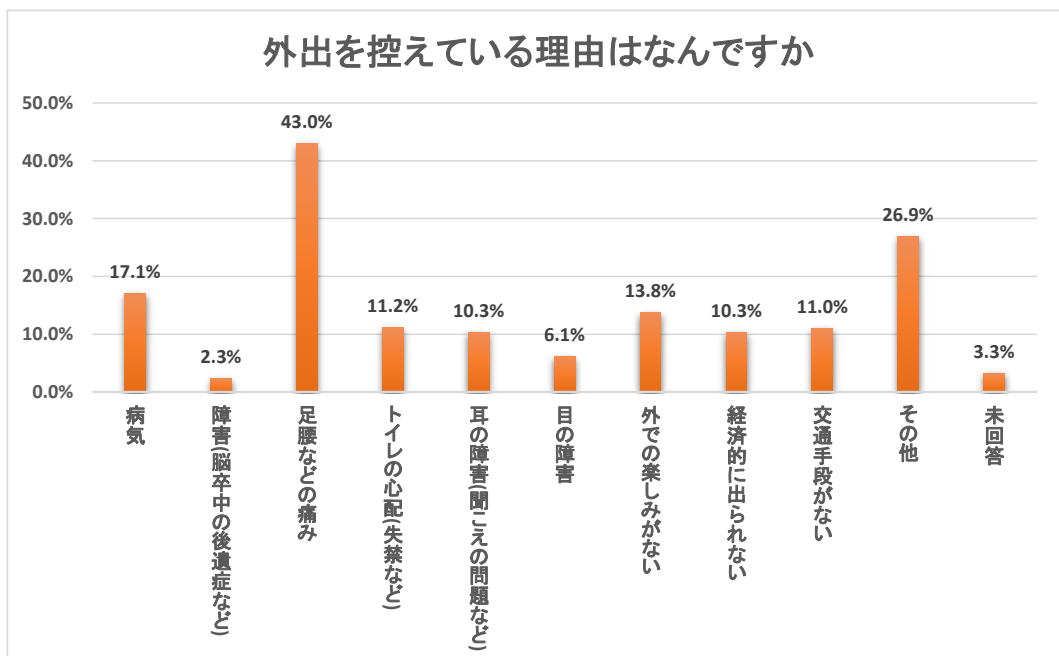
Q 8-1 外出を控えている理由は何ですか、上記質問事項で、【はい】と回答した方（複数選択可）
《回答数：664個》

	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）
人数	73人	10人	184人	48人	44人
割合	17.1%	2.3%	43.0%	11.2%	10.3%

	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他
人数	26人	59人	44人	47人	115人
割合	6.1%	13.8%	10.3%	11.0%	26.9%

	未回答
人数	14人
割合	3.3%

「足腰などの痛み」が43.0%と一番多く、次いで「その他」が26.9%となっている。



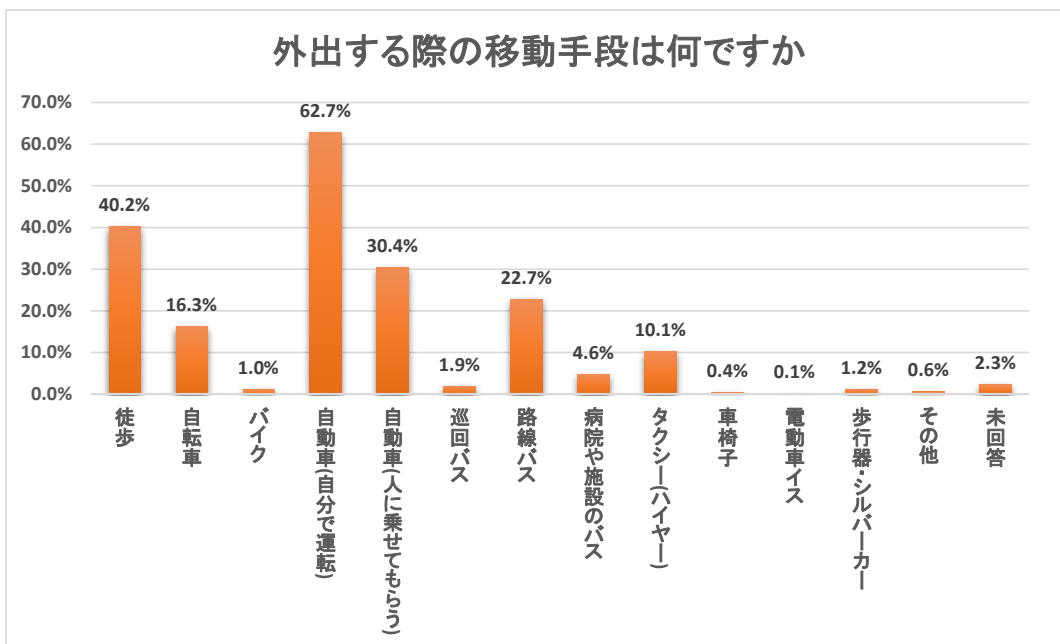
Q 9 外出する際の移動手段は何ですか （複数選択可） 《回答数：2,654個》

	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	巡回バス
人数	549人	223人	14人	855人	414人	26人
割合	40.2%	16.3%	1.0%	62.7%	30.4%	1.9%

	路線バス	病院や施設のバス	タクシー（ハイヤー）	車椅子	電動車イス	歩行器・シルバーカー
人数	309人	63人	138人	6人	2人	16人
割合	22.7%	4.6%	10.1%	0.4%	0.1%	1.2%

	その他	未回答
人数	8人	31人
割合	0.6%	2.3%

「自動車（自分で運転）」が62.7%と一番多く、次いで「徒歩」が40.2%となっている。

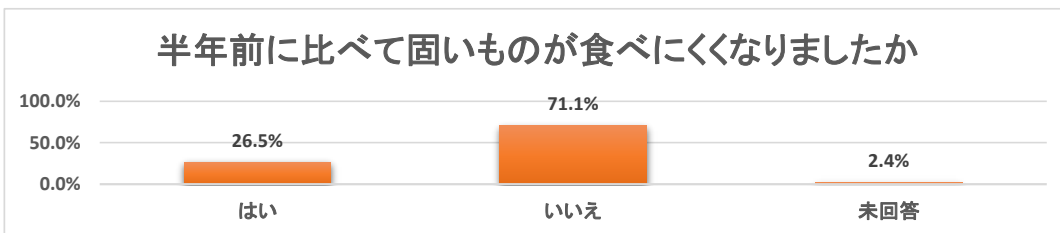


問3 食べることについて

Q2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか 《回答者数：1,332人》

	はい	いいえ	未回答
人数	362人	970人	32人
割合	26.5%	71.1%	2.4%

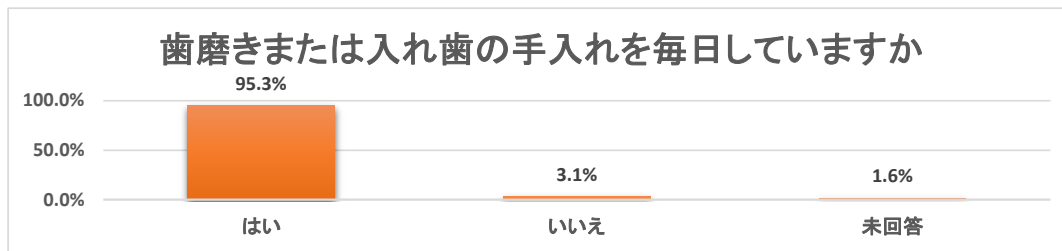
26.5%の方が「固いものが食べにくくなった」と感じている。



Q3 歯磨きまたは入れ歯の手入れを毎日していますか 《回答者数：1,342人》

	はい	いいえ	未回答
人数	1300人	42人	22人
割合	95.3%	3.1%	1.6%

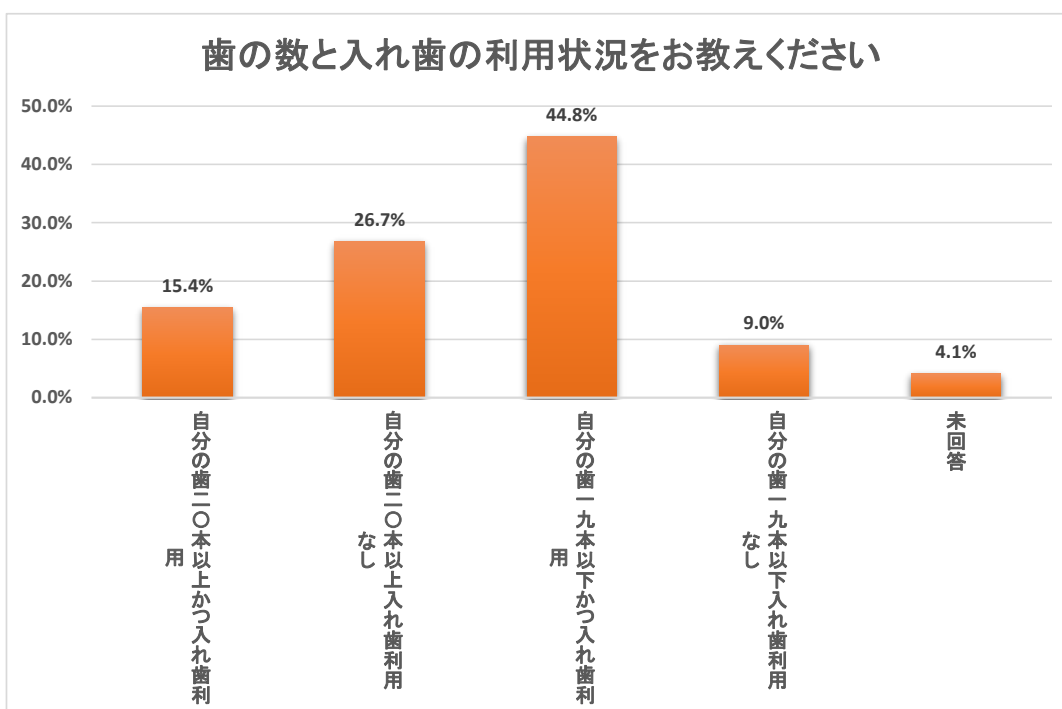
3.1%の方が「歯の手入れを毎日していない」状況である。



Q 4 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください 《回答者数：1,308人》

	自分の歯20本以上かつ入れ歯利用	自分の歯20本以上入れ歯なし	自分の歯19本以下入れ歯利用	自分の歯19本以下入れ歯なし	未回答
人数	210人	364人	611人	123人	56人
割合	15.4%	26.7%	44.8%	9.0%	4.1%

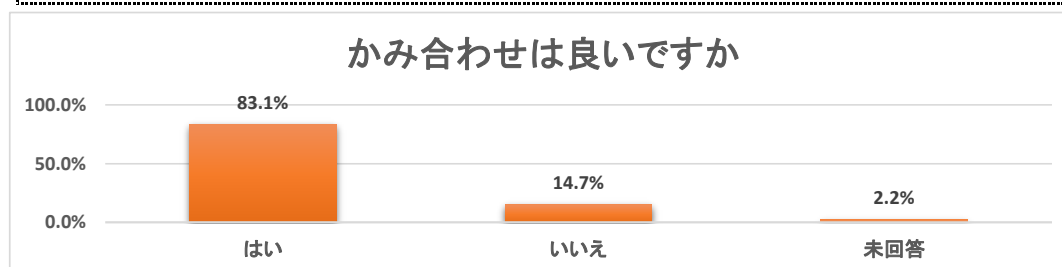
9.0%の方が「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の状況となっている。



Q 5 かみ合わせは良いですか 《回答者数：1,334人》

	はい	いいえ	未回答
人数	1133人	201人	30人
割合	83.1%	14.7%	2.2%

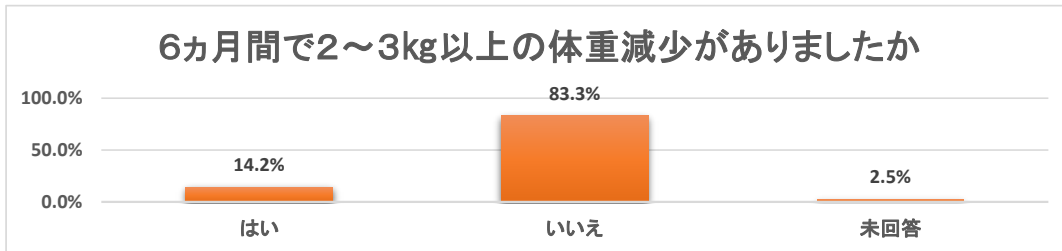
14.7%の方が「かみ合わせは良くない」の状況となっている。



Q 6 6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか 《回答者数：1,330人》

	はい	いいえ	未回答
人数	194人	1136人	34人
割合	14.2%	83.3%	2.5%

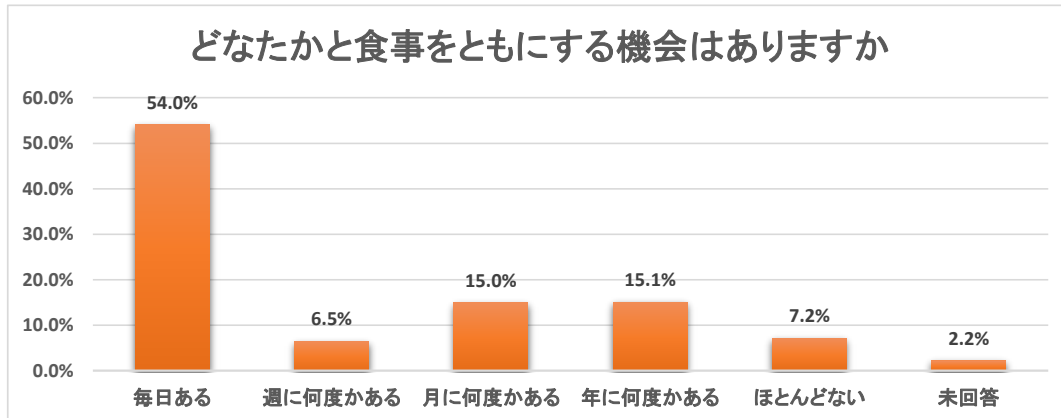
14.2%の方が「2～3kg以上体重減少」の状況となっている。



Q 7 どなたかと食事をとにもする機会がありますか 《回答者数：1,334人》

	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	未回答
人数	737人	89人	204人	206人	98人	30人
割合	54.0%	6.5%	15.0%	15.1%	7.2%	2.2%

7.2%の方がどなたかと食事する機会が「ほとんどない」の状況となっている。

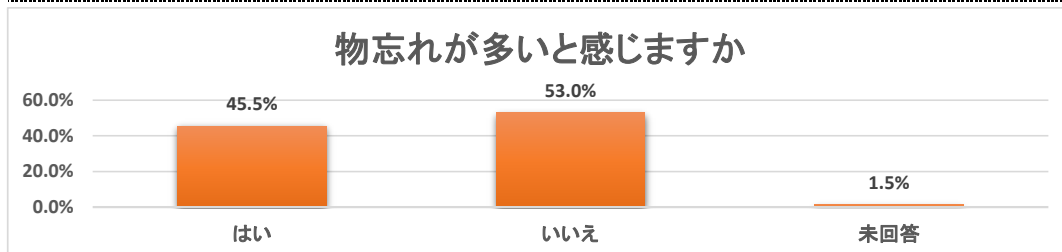


問 4 毎日の生活について

Q 1 物忘れが多いと感じますか 《回答者数：1344人》

	はい	いいえ	未回答
人数	621人	723人	20人
割合	45.5%	53.0%	1.5%

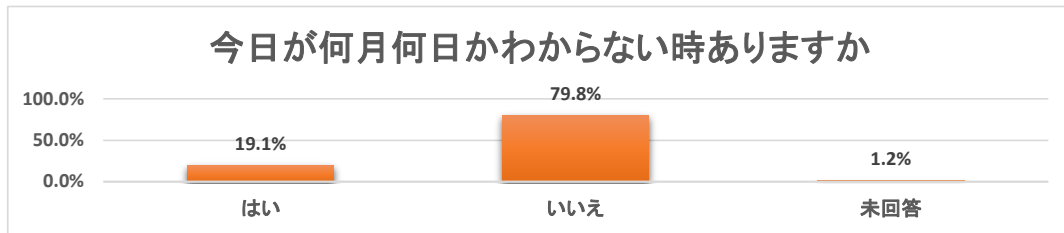
45.5%の方が「物忘れが多い」と感じている。



Q 2 今日が何月何日かわからない時ありますか 《回答者数：1,348人》

	はい	いいえ	未回答
人数	260人	1088人	16人
割合	19.1%	79.8%	1.2%

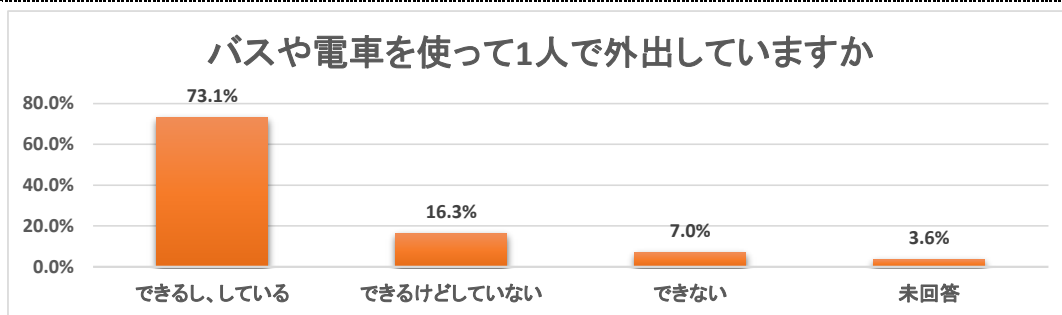
19.1%の方が「今日が何月何日かわからない」と感じている。



Q 3 バスや電車を使って一人で外出していますか 《回答者数：1,315人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	997人	222人	96人	49人
割合	73.1%	16.3%	7.0%	3.6%

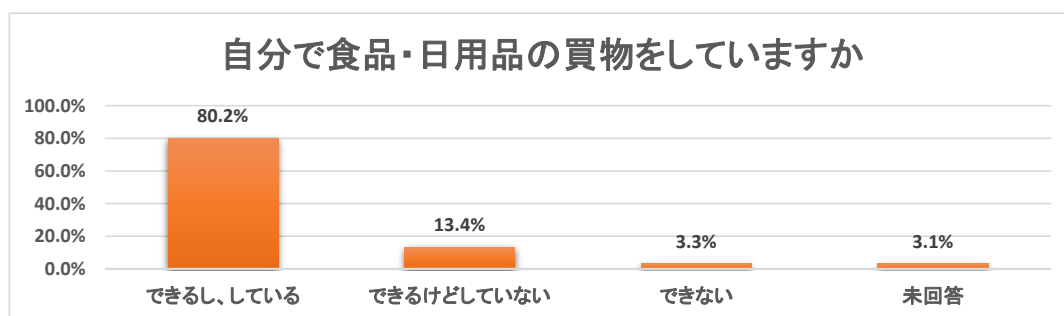
7.0%の方が「できない」、16.3%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 4 自分で食品・日用品の買物をしていますか 《回答者数：1,322人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	1094人	183人	45人	42人
割合	80.2%	13.4%	3.3%	3.1%

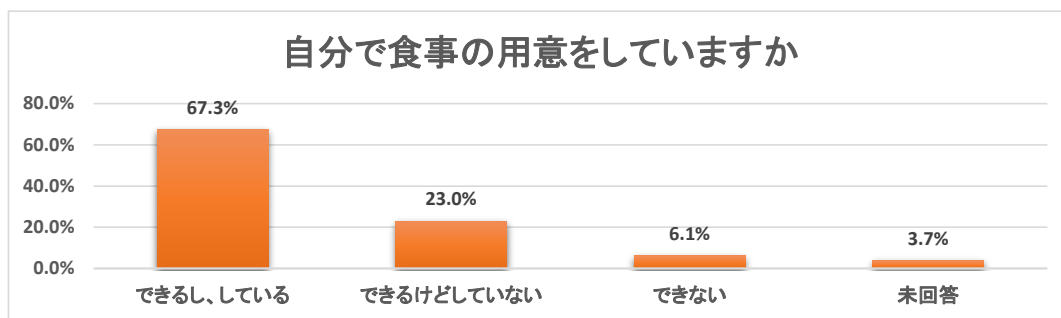
3.3%の方が「できない」、13.4%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 5 自分で食事の用意をしていますか 《回答者数：1,314人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	918人	313人	83人	50人
割合	67.3%	23.0%	6.1%	3.7%

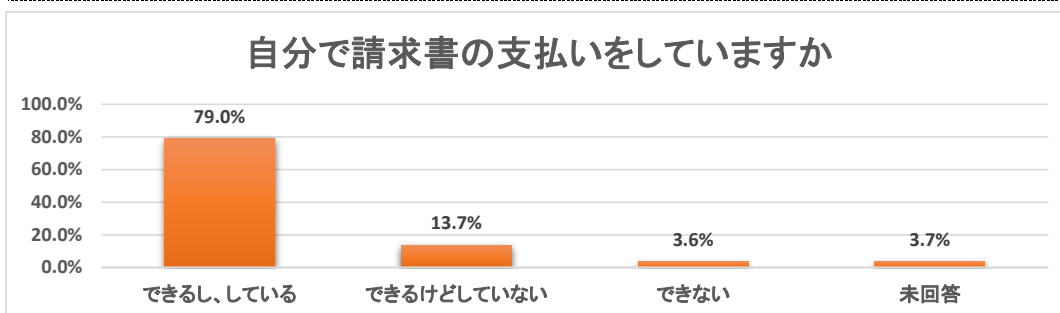
6.1%の方が「できない」、23.0%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 6 自分で請求書の支払いをしていますか 《回答者数：1,314人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	1078人	187人	49人	50人
割合	79.0%	13.7%	3.6%	3.7%

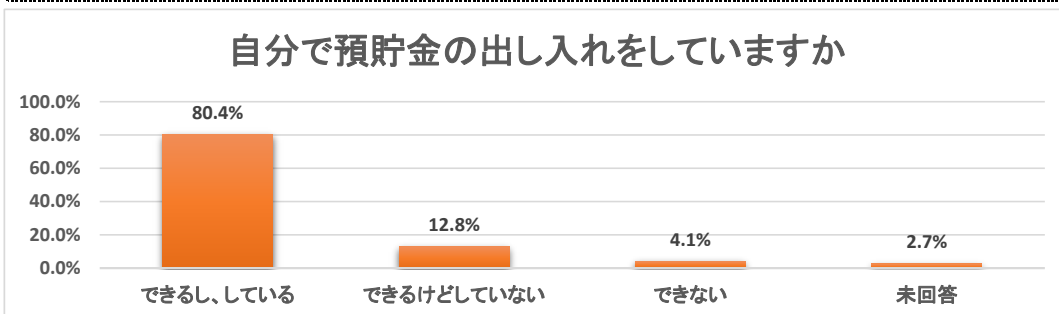
3.6%の方が「できない」、13.7%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 7 自分で預貯金の出し入れをしていますか 《回答者数：1,327人》

	できるし、している	できるけどしていない	できない	未回答
人数	1096人	175人	56人	37人
割合	80.4%	12.8%	4.1%	2.7%

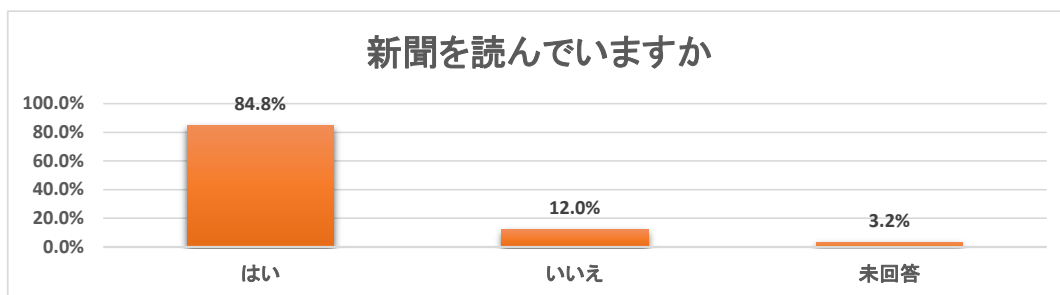
4.1%の方が「できない」、12.8%の方は「できるけどしていない」状況となっている。



Q 8 新聞を読んでいますか 《回答者数：1,321人》

	はい	いいえ	未回答
人数	1157人	164人	43人
割合	84.8%	12.0%	3.2%

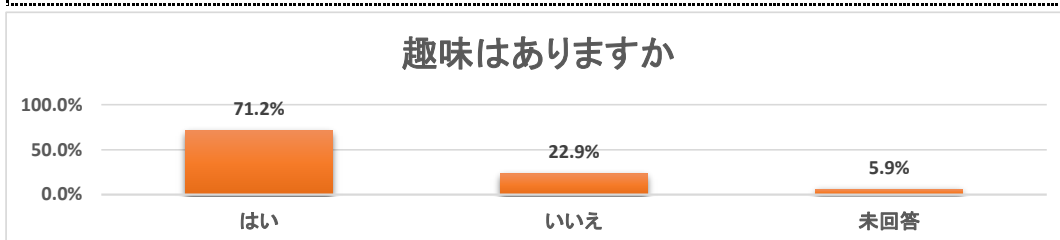
12.0%の方が「読んでいない」状況となっている。



Q 9 趣味はありますか 《回答者数：1,283人》

	はい	いいえ	未回答
人数	971人	312人	81人
割合	71.2%	22.9%	5.9%

22.9%の方が「趣味がない」状況となっている。



Q 10 生きがいがありますか 《回答者数：1,252人》

	生きがいあり	思いつかない	未回答
人数	818人	434人	112人
割合	60.0%	31.8%	8.2%

31.8%の方が「生きがいがない」状況となっている。



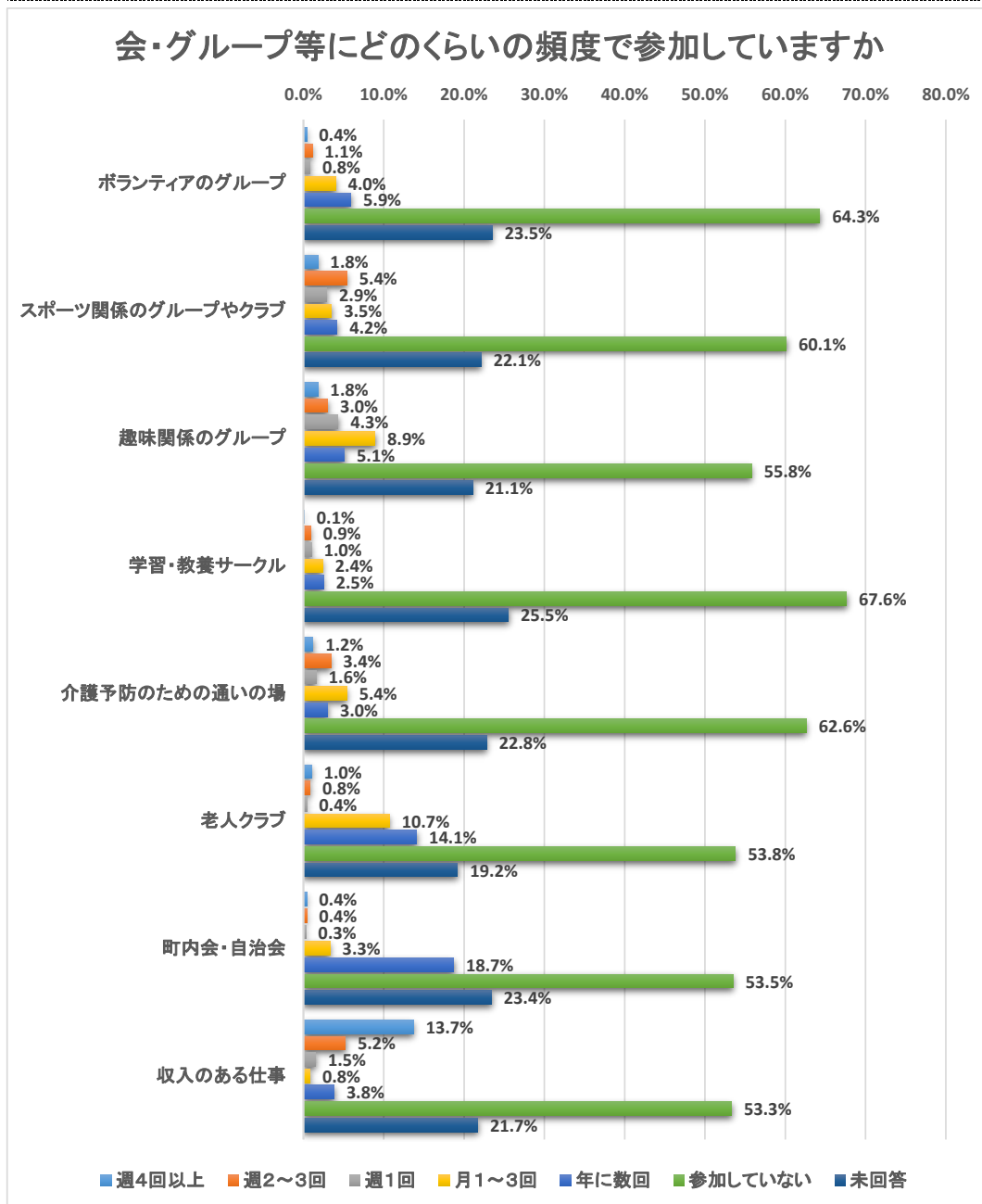
問5 地域での活動について

Q 1 次の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	未回答
ボランティアのグループ	人数	6	15	11	54	80	877	321
	割合	0.4%	1.1%	0.8%	4.0%	5.9%	64.3%	23.5%
スポーツ関係のグループやクラブ	人数	25	73	40	48	57	819	302
	割合	1.8%	5.4%	2.9%	3.5%	4.2%	60.1%	22.1%
趣味関係のグループ	人数	25	40	60	122	69	760	288
	割合	1.8%	3.0%	4.3%	8.9%	5.1%	55.8%	21.1%
学習・教養サークル	人数	2	12	13	33	34	922	348
	割合	0.1%	0.9%	1.0%	2.4%	2.5%	67.6%	25.5%

介護予防のための通いの場（快足シャキット・健康マージャン・サロンなど）	人数	17	46	22	73	41	854	311
	割合	1.2%	3.4%	1.6%	5.4%	3.0%	62.6%	22.8%
老人クラブ	人数	15	11	5	146	192	733	262
	割合	1.0%	0.8%	0.4%	10.7%	14.1%	53.8%	19.2%
町内会・自治会	人数	6	5	4	46	254	729	320
	割合	0.4%	0.4%	0.3%	3.3%	18.7%	53.5%	23.4%
収入のある仕事	人数	187	71	20	12	51	726	297
	割合	13.7%	5.2%	1.5%	0.8%	3.8%	53.3%	21.7%

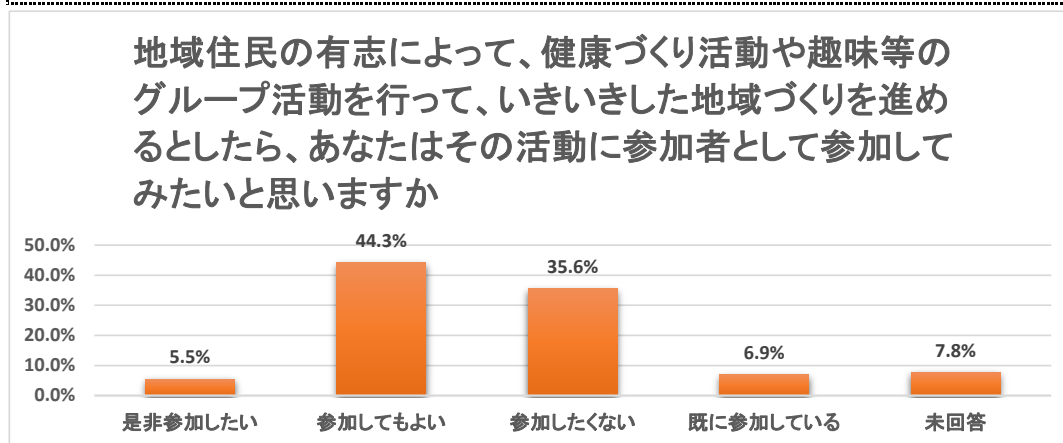
全ての項目において6割程度の方が「参加していない」状況となっている。



Q 2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか 《回答者数：1,258人》

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	未回答
人数	75人	604人	485人	94人	106人
割合	5.5%	44.3%	35.6%	6.9%	7.8%

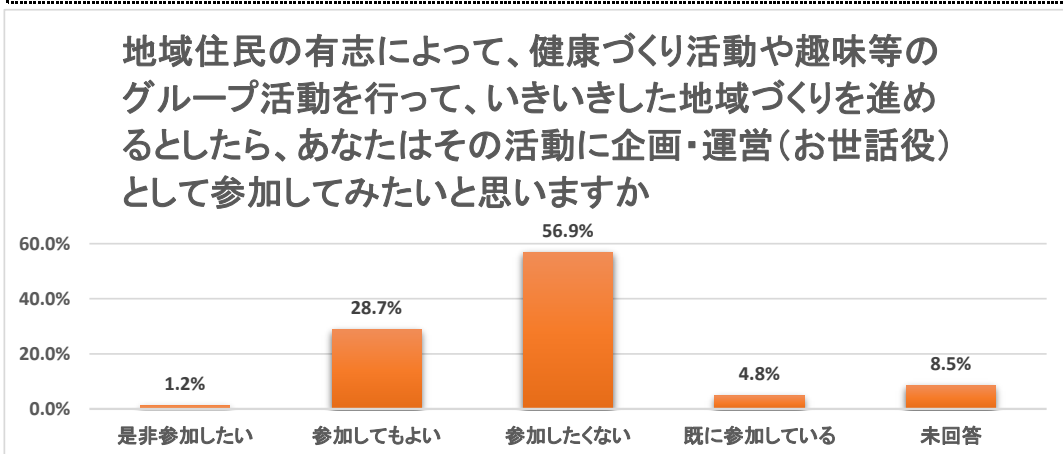
参加者としては「是非参加したい」と「参加してもよい」合わせて49.8%となっている。



Q 3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか 《回答者数：1,248人》

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	未回答
人数	16人	391人	776人	65人	116人
割合	1.2%	28.7%	56.9%	4.8%	8.5%

参加者と違い、企画・運営（お世話役）としては、56.9%の方が「参加したくない」状況となっている。



問 6 たすけあいについて

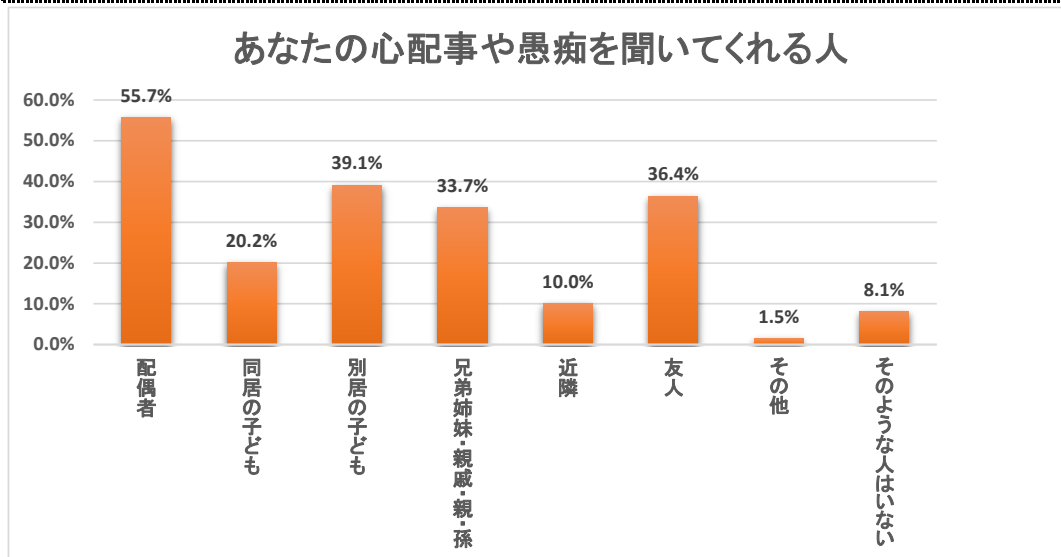
Q 1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数選択可）

《回答者数：1,364人、回答数：2,793個》

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫
人数	760人	275人	533人	459人
割合	55.7%	20.2%	39.1%	33.7%

	近隣	友人	その他	そのような人はいない
人数	137人	497人	21人	111人
割合	10.0%	36.4%	1.5%	8.1%

「配偶者」が55.7%と最も多く、次いで「別居の子ども」の39.1%となっている。



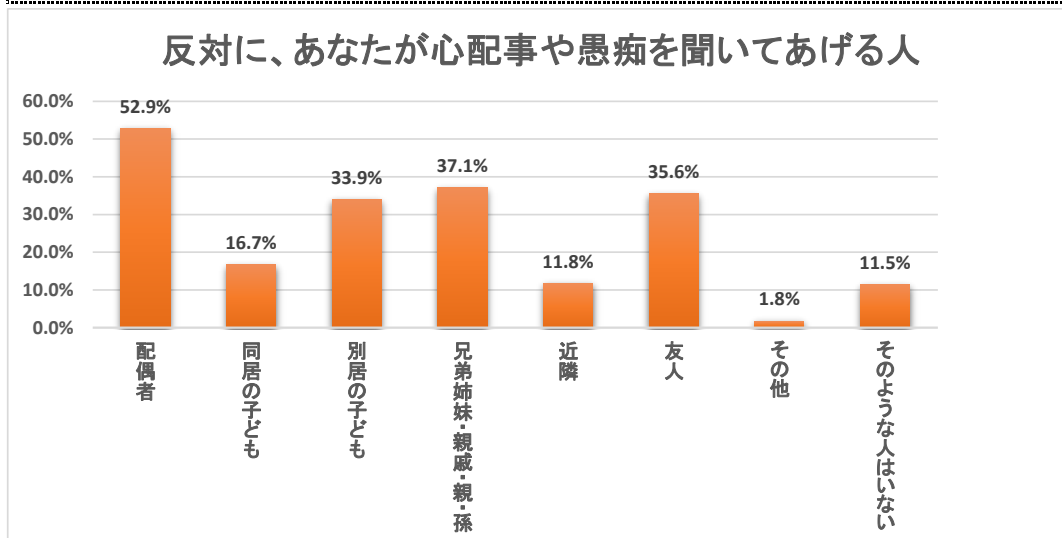
Q 2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (複数選択可)

《回答者数：1,364人、回答数：2,745個》

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫
人数	721人	228人	463人	506人
割合	52.9%	16.7%	33.9%	37.1%

	近隣	友人	その他	そのような人はいない
人数	161人	485人	24人	157人
割合	11.8%	35.6%	1.8%	11.5%

「配偶者」が52.9%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の37.1%となっている。



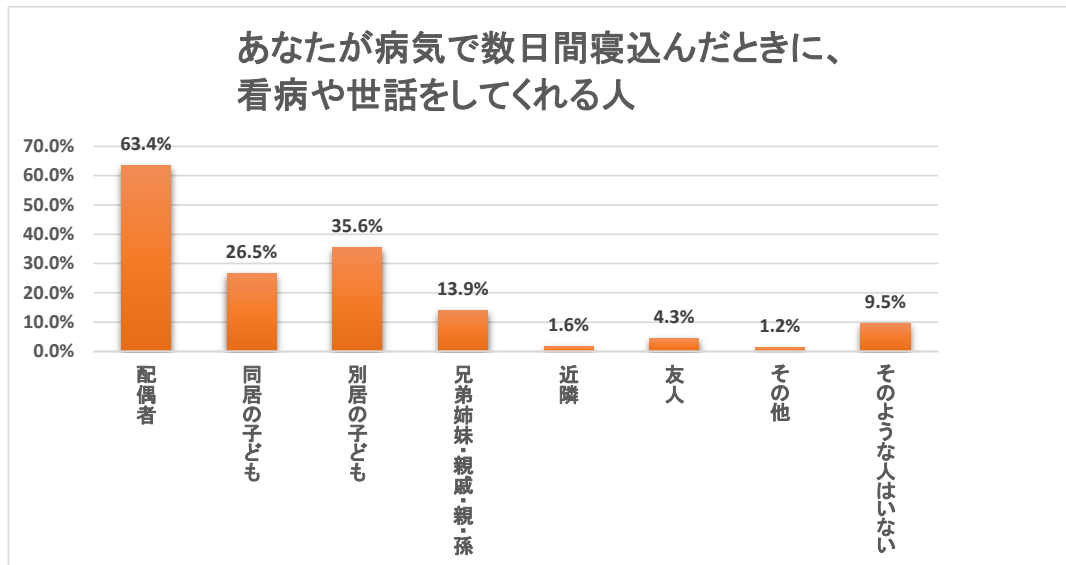
Q 3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (複数選択可)

《回答者数：1,364人、回答数：2,129個》

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫
人数	865人	362人	485人	190人
割合	63.4%	26.5%	35.6%	13.9%

	近隣	友人	その他	そのような人はいない
人数	22人	59人	17人	129人
割合	1.6%	4.3%	1.2%	9.5%

「配偶者」が63.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」の35.6%となっている。



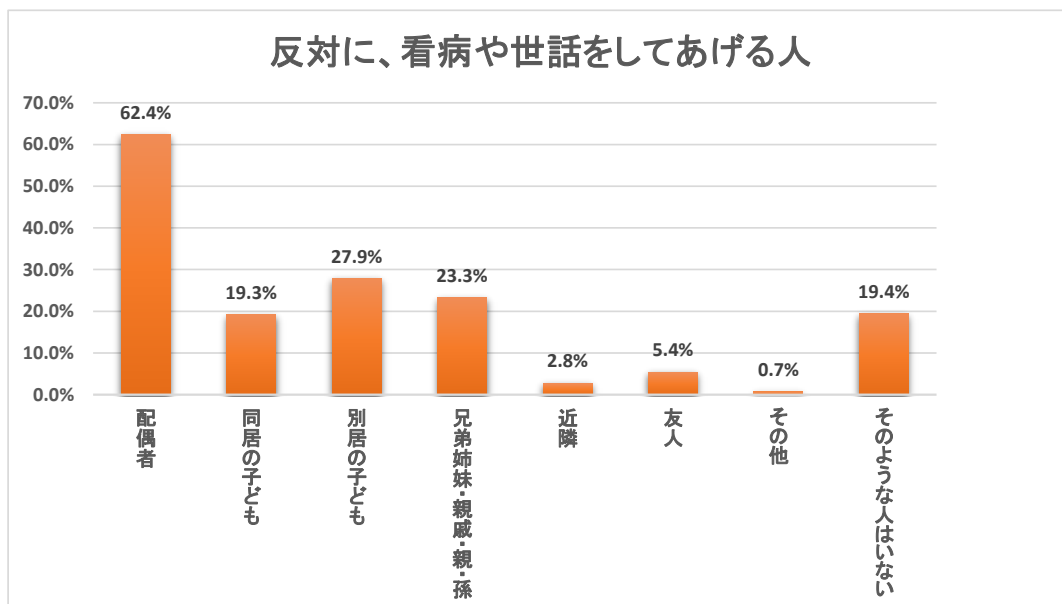
Q 4 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数選択可）

《回答者数：1,364人、回答数：2,199個》

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫
人数	851人	263人	381人	318人
割合	62.4%	19.3%	27.9%	23.3%

	近隣	友人	その他	そのような人はいない
人数	38人	74人	10人	264人
割合	2.8%	5.4%	0.7%	19.4%

「配偶者」が62.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」の27.9%となっている。

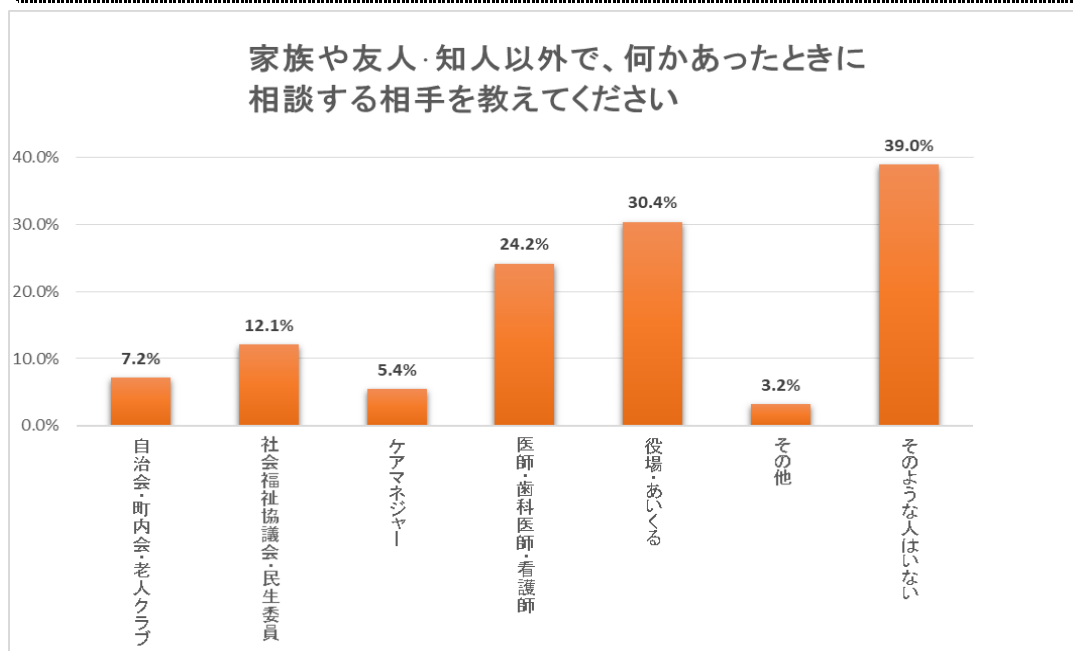


Q 5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(複数選択可) 《回答者数：1,364人、回答数：1,657個》

	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師
人数	98人	165人	74人	330人
割合	7.2%	12.1%	5.4%	24.2%

	役場・あいくる	その他	そのような人はいない
人数	415人	43人	532人
割合	30.4%	3.2%	39.0%

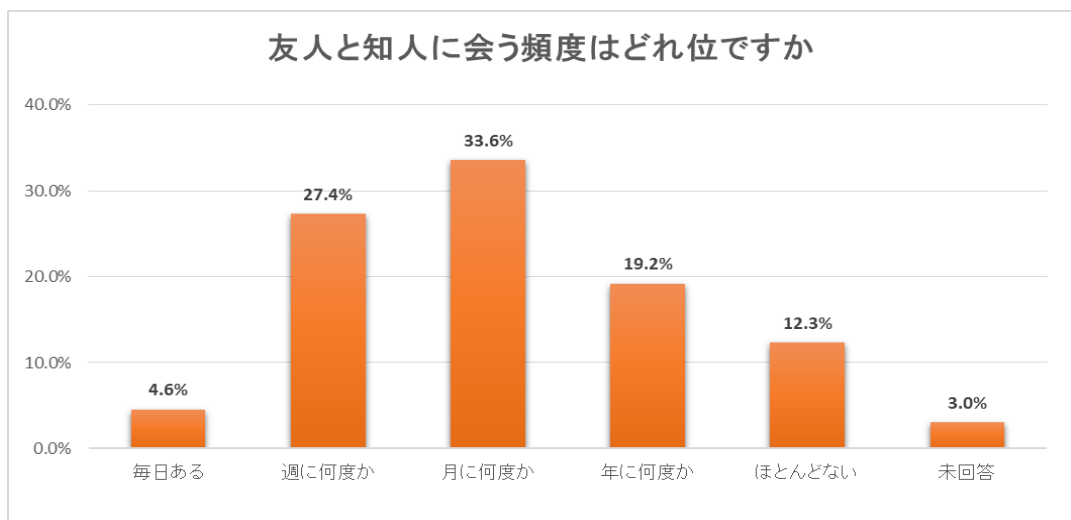
「そのような人はいない」が39.0%、「役場・あいくる」が30.4%、次いで「医師・歯科医師・看護師」の24.2%となっている。



Q 6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか 《回答者数：1,323人》

	毎日ある	週に何度か	月に何度か	年に何度か	ほとんどない	未回答
人数	62人	373人	458人	262人	168人	41人
割合	4.6%	27.4%	33.6%	19.2%	12.3%	3.0%

「月に何度か」が33.6%と最も多く、逆に「ほとんどない」が12.3%となっている。



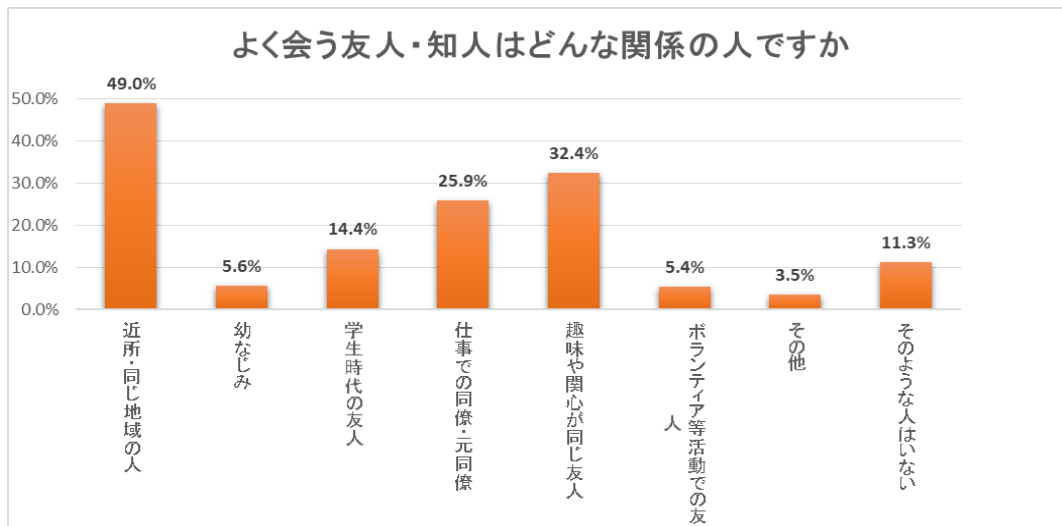
Q 7 よく合う友人・知人はどんな関係の人ですか。（複数回答可）

《回答者数：1,364人、回答数：2,010個》

	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚
人数	668人	76人	196人	353人
割合	49.0%	5.6%	14.4%	25.9%

	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等活動での友人	その他	そのような人はいない
人数	442人	74人	47人	154人
割合	32.4%	5.4%	3.5%	11.3%

「近所・同じ地域」が49.0%と最も多く、次に「趣味等が同じ」が32.4%となっている。

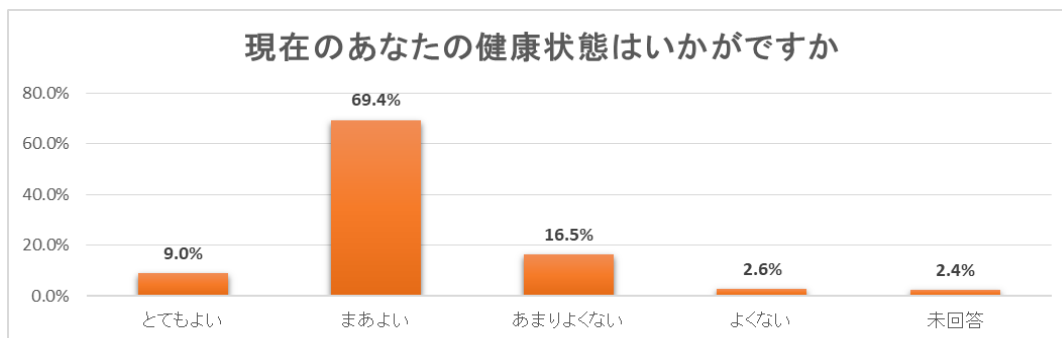


問 7 健康について

Q 1 現在のあなたの健康状態はいかがですか 《回答者数：1,331人》

	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	未回答
人数	123人	947人	225人	36人	33人
割合	9.0%	69.4%	16.5%	2.6%	2.4%

「あまりよくない」と「よくない」合わせて19.1%となっている。

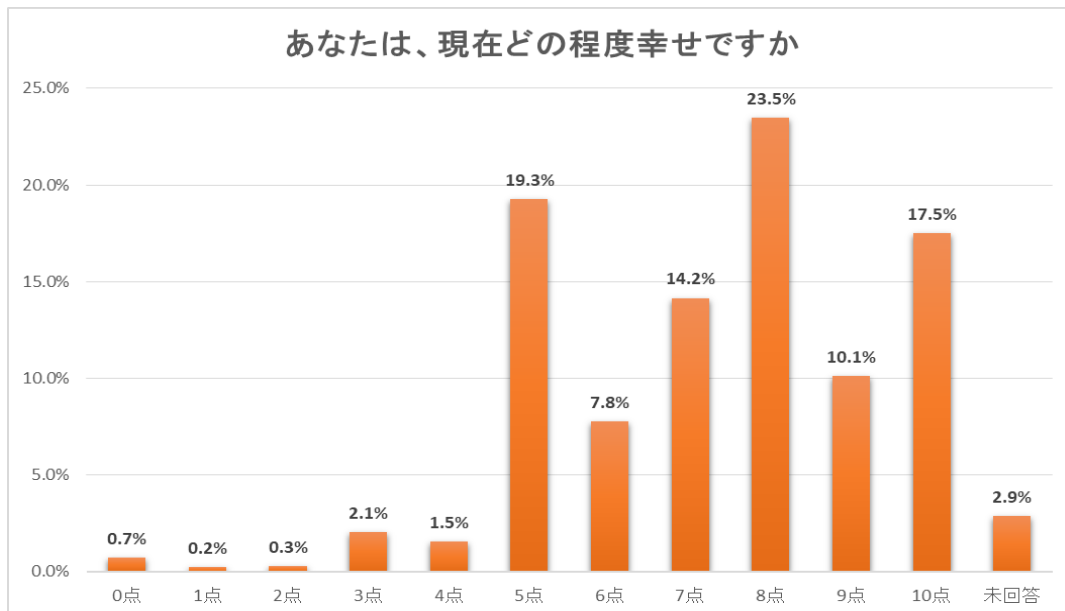


Q 2 あなたは、現在どの程度幸せですか 《回答者数：1,325人》

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としている

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	未回答
人数	10人	3人	4人	28人	21人	263人	106人	193人	320人	138人	239人	39人
割合	0.7%	0.2%	0.3%	2.1%	1.5%	19.3%	7.8%	14.2%	23.5%	10.1%	17.5%	2.9%

「8点」23.5%と最も多く、次に「5点」19.3%、逆に「0点から4点」が4.8%となっている。



Q 3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか 《回答者数：1,325人》

	はい	いいえ	未回答
人数	422人	903人	39人
割合	30.9%	66.2%	2.9%

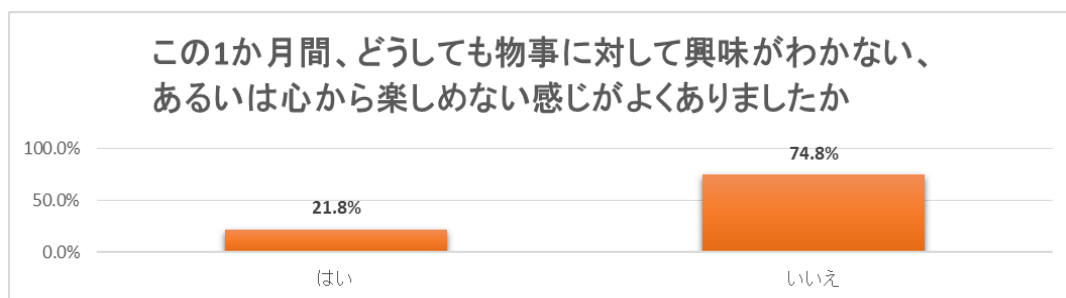
30.9%の方この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになっている。



Q 4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか 《回答者数：1,317人》

	はい	いいえ	未回答
人数	297人	1020人	47人
割合	21.8%	74.8%	3.5%

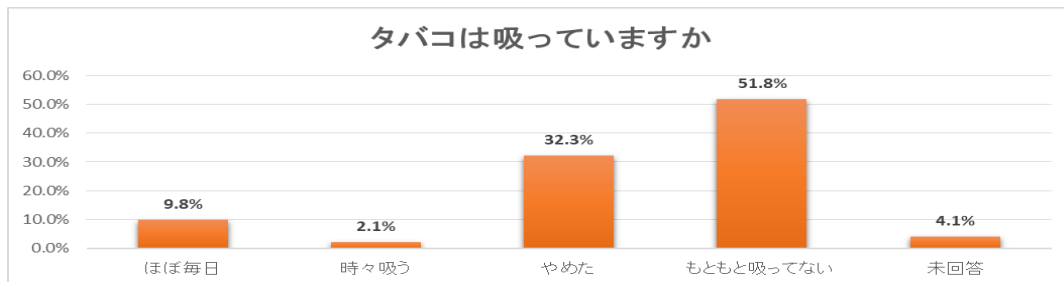
21.8%の方どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくある状況となっている。



Q 5 タバコは吸っていますか 《回答者数：1,308人》

	ほぼ毎日	時々吸う	やめた	もともと吸ってない	未回答
人数	133人	28人	440人	707人	56人
割合	9.8%	2.1%	32.3%	51.8%	4.1%

9.8%の方が「ほぼ毎日吸っている」で逆に「やめた」が32.3%となっている。



Q 6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか （複数選択可）

《回答者数：1,364人、回答数：2,546個》

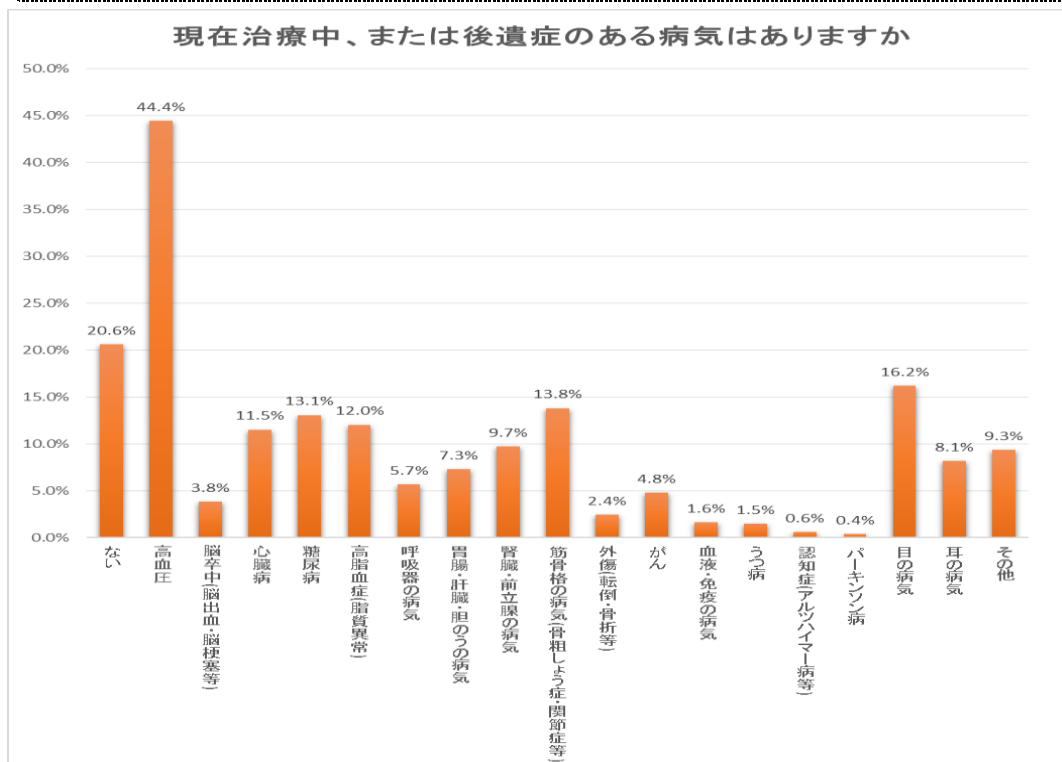
	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病
人数	281人	606人	52人	157人	178人
割合	20.6%	44.4%	3.8%	11.5%	13.1%

	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）
人数	164人	77人	99人	132人	188人
割合	12.0%	5.7%	7.3%	9.7%	13.8%

	外傷（転倒・骨折等）	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）
人数	33人	65人	22人	20人	8人
割合	2.4%	4.8%	1.6%	1.5%	0.6%

	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他
人数	5人	221人	111人	127人
割合	0.4%	16.2%	8.1%	9.3%

「高血圧」が44.4%と一番多く、次に「目の病気」が16.2%となっている。

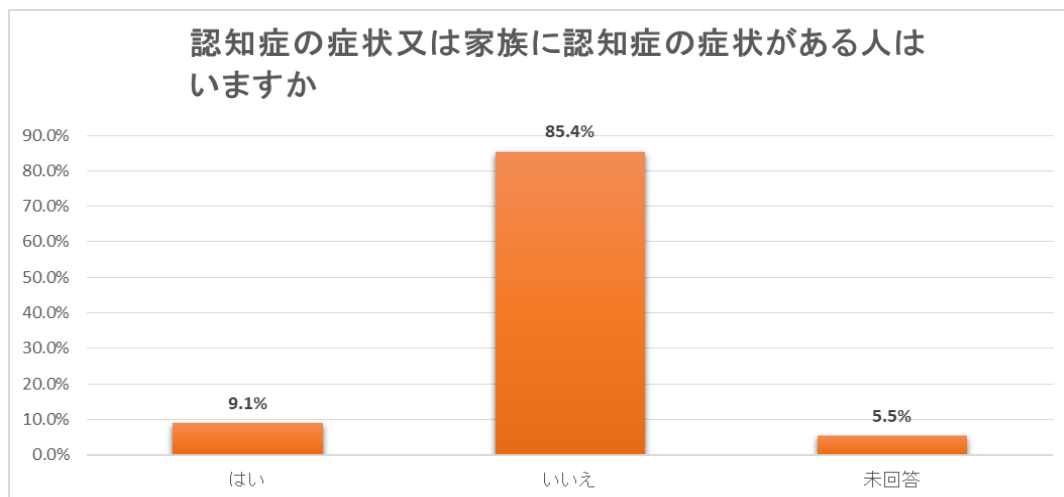


問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

Q 1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか 《回答者数：1,289人》

	はい	いいえ	未回答
人数	124人	1165人	75人
割合	9.1%	85.4%	5.5%

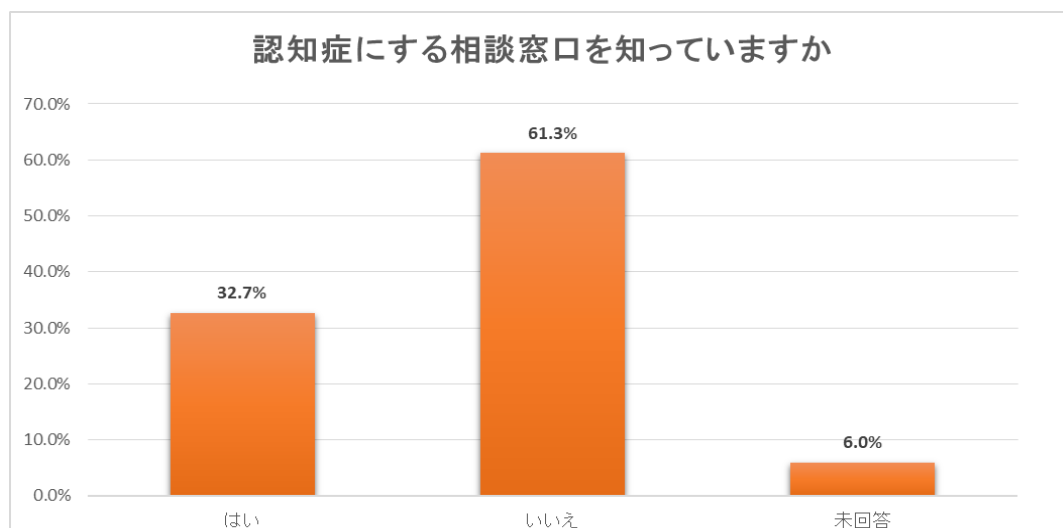
「認知症の症状や家族に認知症の症状がある人がいる」が9.1%となっている。



Q 2 認知症に関する相談窓口を知っていますか 《回答者数：1,282人》

	はい	いいえ	未回答
人数	446人	836人	82人
割合	32.7%	61.3%	6.0%

「相談窓口を知らない」が61.3%となっている。



Q 3 認知症カフェ（オレンジカフェ等）を知っていますか、参加したいですか（南幌町独自項目）

《回答者数：1,281人》

	知っている・参加したい	知っている・参加したくない	知らない・参加したい	知らない・参加したくない	未回答
人数	59人	201人	266人	755人	83人
割合	4.3%	14.7%	19.5%	55.4%	6.1%

「知らない・参加したくない」が55.4%、「知らない・参加したい」が19.5%となっている。

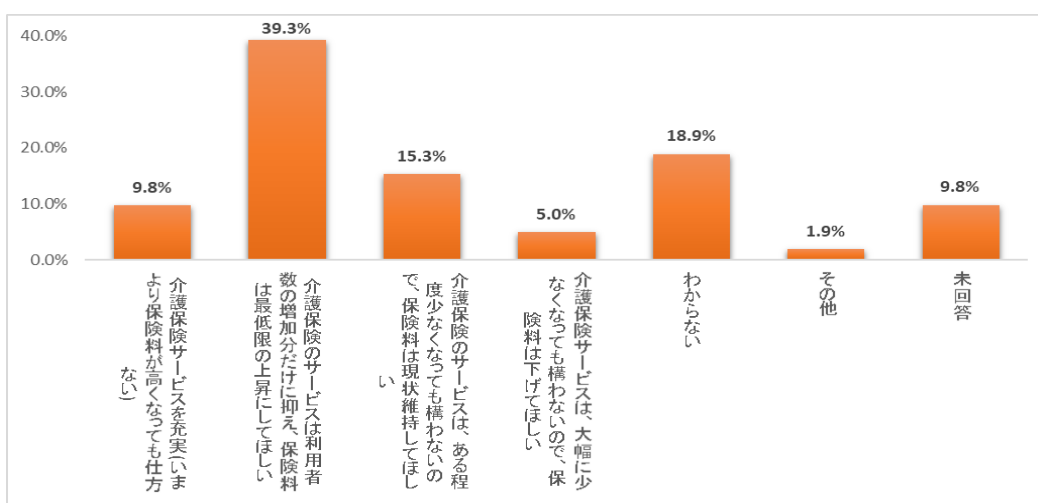
問9 介護保険制度について（南幌町独自項目）

Q1 介護保険サービスの充実と介護保険料について、どのように考えますか

《回答者数：1,230人》

内 容	人数	割合
介護保険サービスを充実（今より保険料が高くなっても仕方ない）	133人	9.8%
介護保険のサービスは利用者数の増加分だけに抑え、保険料は最低限の上昇にしてほしい	536人	39.3%
介護保険のサービスは、ある程度少なくなっても構わないので、保険料は現状維持してほしい	209人	15.3%
介護保険サービスは、大幅に少なくなっても構わないので、保険料は下げてほしい	68人	5.0%
わからない	258人	18.9%
その他	26人	1.9%
未回答	134人	9.8%

「保険料は最低限」が39.3%、「現状維持・下げて欲しい」が20.3%となっている。

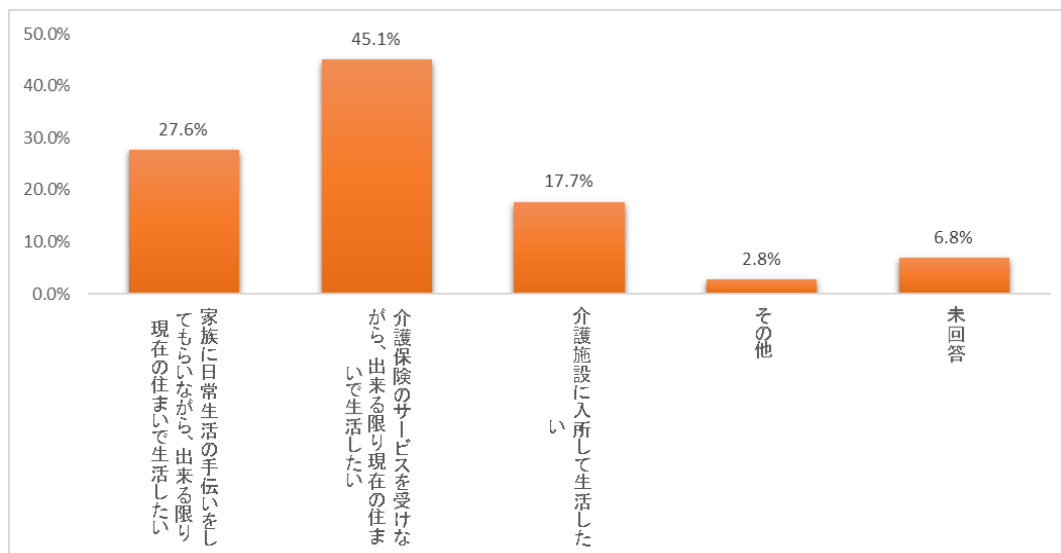


Q2 今後、あなたが認知症や介護の状態になった場合、どのようにして自分らしい生活続けたいですか

《回答者数：1,271人》

内 容	人数	割合
家族に日常生活の手伝いをしてもらいながら、出来る限り現在の住まいで生活したい	377人	27.6%
介護保険のサービスを受けながら、出来る限り現在の住まいで生活したい	615人	45.1%
介護施設に入所して生活したい	241人	17.7%
その他	38人	2.8%
未回答	93人	6.8%

「現在の住まいで生活したい」を合わせると72.7%と半数以上、施設入所は17.7%である。



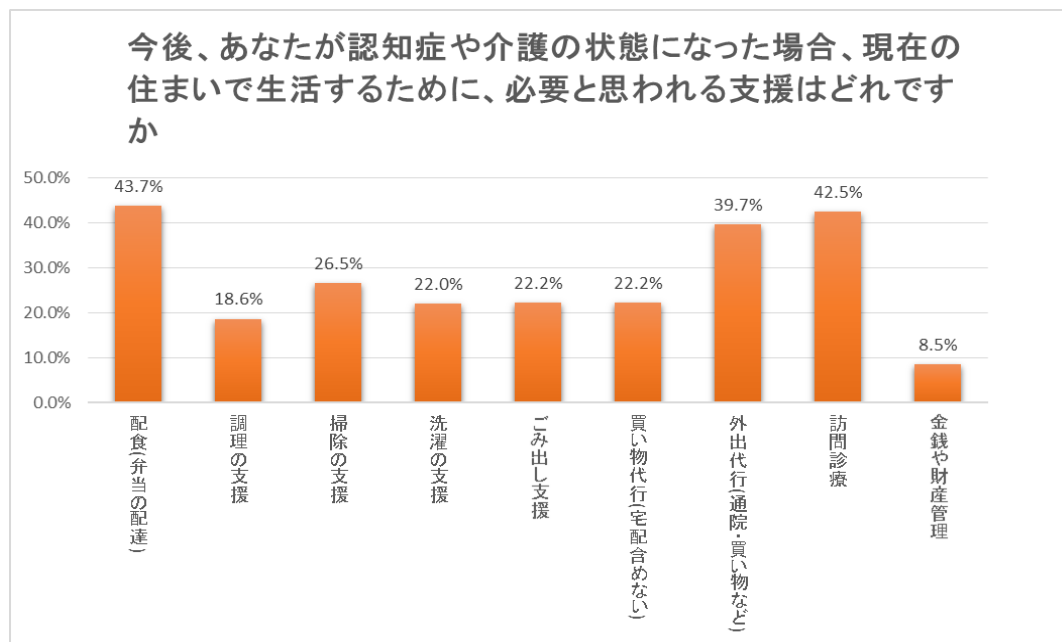
Q 3 今後、あなたが認知症や介護の状態になった場合、現在の住まいで生活するために必要と思われる支援はどれですか（複数回答可能）

《回答者数：1,364人、回答数：3,354個》

	配食（弁当の配達）	調理の支援	掃除の支援	洗濯の支援	ごみ出し支援
人数	596人	254人	362人	300人	303人
割合	43.7%	18.6%	26.5%	22.0%	22.2%

	買い物代行（宅配含めない）	外出代行（通院・買い物など）	訪問診療	金銭や財産管理
人数	303人	541人	579人	116人
割合	22.2%	39.7%	42.5%	8.5%

配食が43.7%、次に訪問診療が42.5%、外出代行が39.7%となっている。



資料 2

第 8 期 在宅介護実態調査分析 （令和 2 年 6 月末時点）

調査の目的：要介護者の適切な在宅生活の継続、家族介護者の介護と就労の両立の実現に向けて、今後の介護サービスの必要性を検討する。

実施期間：令和 2 年 3 月から 5 月（約 3 ヶ月間）

対象者：要介護 1 から要介護 5 の在宅にお住まいの方を対象として実施

調査方法：郵送による調査

対象者の人数及び介護度：人数 1 8 1 人 要介護 1→8 2 人、要介護 2→6 7 人、要介護 3→1 6 人、要介護 4→1 2 人、要介護 5→4 人

回答者数及び回答者の介護度： 9 9 人 要支援 1・2→5、**要介護 1・2→7 8 人**、要介護 3 以上→1 6 人 回答率 54.7%

回答者の年齢内訳：6 5 歳から 6 9 歳→3 人、7 0 歳から 7 4 歳→6 人、7 5 歳から 7 9 歳→1 1 人、8 0 歳から 8 4 歳→2 5 人、

8 5 歳から 8 9 歳→2 6 人、9 0 歳から 9 4 歳→2 0 人、9 5 歳から 9 9 歳→5 人、1 0 0 歳以上→3 人、

回答者の認知症自立度：自立→1 人、Ⅰ→1 5 人、Ⅱa→1 9 人、Ⅱb→4 3 人、Ⅲ a→1 7 人、Ⅲ b→2 人、Ⅳ→2 人

調査項目及び回答結果		調査から見えてくること・必要と考える課題等
全体	在宅介護実態調査を記入した人 99人中 ①本人18人（18.2%） ② 主な介護者である家族や親族68人（68.7%） 、 ③主な介護者以外の家族や親族9人（9.1%）④ケアマネジャー1人（1%） ⑤その他3人（3%）	・世帯類型をみると、夫婦世帯30.3%、その他47.5%であることから親族等と住まわれている人が多いことから、主な介護者が記入されていると考える。
A票問1	世帯内容 99人中 ①単身22人（22.2%）②夫婦のみ世帯30人（30.3%）③ その他47人（47.5%）	単身世帯は全体の22.2%あり、家族等の同居が半数以上である。
A票問2	調査対象者の性別 99人中 ①男性35人（35.4%）② 女性64人（64.6%）	
A票問5	現時点での、施設への入所検討 99人中 ① 検討していない75人（75.8%） ②検討している19人（19.2%） ③既に入所申込している3人（3.0%） ④無回答2人（2%）	・要介護 1・2 の回答者が多いことから、調査時点では施設入所の検討には至っていないが、介護度が悪くなれば検討の可能性はある。 ・施設待機者の把握・サービスの充実
A票問6	令和2年1月の1ヵ月の間で、介護保険サービスを利用しているか。99人中 （住宅改修・福祉用具貸与・購入以外） ① 利用している76人（76.8%） ②利用していない21人（21.2%）無回答2人（2%）	・訪問型サービスでは月に5～14回が全体の14.1% ・通所系サービスでは月に5～9回が全体で24.2%

A 票 問 8	A票問6で介護保険サービスを利用していない理由 21人中 複数回答可 ①サービスを利用する状態でない11人 (52.4%) ②本人の希望がない5人 (23.8%) ③家族が介護するため必要ない4人 (19.0%) ④以前のサービスに不満1人 (4.8%) ⑤利用料を支払うのが困難4人 (19.0%) ⑥手続きが分からない1人 (4.8%) ⑦住宅改修や福祉用具貸与・購入のみの利用で大丈夫1人 (4.8%) ⑧利用したいサービスが身近にない0人	・介護度も悪くなく、比較的状态が安定していると考えられる。 しかし利用料の支払いが困難との回答も4人いることから現状把握が必要と考える。
A 票 問 9	現在利用している介護保険サービス以外のサービス 99人中 複数回答可 ①配食12人 (12.1%) ②調理2人 (2.0%) ③清掃・洗濯11人 (11.1%) ④ゴミ出し7人 (7.1%) ⑤買い物(宅配除く)7人 (7.1%) ⑥外出同行(通院・買い物)4人 (4.0%) ⑦移送サービス3人 (3.0%) ⑧見守り・声かけ1人 (1.0%) ⑨除雪11人 (11.1%) ⑩サロン等の定期的な通いの場1人 (1.0%) ⑪特になし50人 (50.5%)	・配食や除雪も利用している人がいることから、今後も日常生活支援の充実が必要である。
A 票 問 10	現在の生活を継続するために必要と感じている支援やサービス 99人中 複数回答可 ①配食16人 (16.2%) ②調理6人 (6.1%) ③清掃・洗濯11人 (11.1%) ④ゴミ出し7人 (7.1%) ⑤買い物(宅配除く)7人 (7.1%) ⑥外出同行(通院・買い物)9人 (9.1%) ⑦移送サービス17人 (17.2%) ⑧見守り・声かけ12人 (12.1%) ⑨除雪22人 (22.2%) ⑩サロン等の定期的な通いの場3人 (3.0%) ⑪特になし39人 (39.4%)	・日常生活支援の充実・総合事業含 ・移送手段の確保
A 票 問 11	家族や親族からの介護の頻度 99人中 ①ない20人 (20.2%) ②週に1日よりも少ない13人 (13.1%) ③未回答2人 (2.0%) ④週に1～2回21人 (21.2%) ⑤週に3～4日1人 (1.0%) ⑥ほぼ毎日42人 (42.5%)	・介護者の負担軽減の取り組み
介護が必要と回答された(未回答者2人も含む)主な介護者の方についての結果 79人		
B 票 問 1	家族や親族の中で、介護が主な理由で過去1年間で仕事を辞めた方 79人中 複数回答可 ①辞めた9人 (11.4%) ②主な介護者以外の家族・親族が辞めた4人 (5.1%) ③転職した1人 (1.3%) ④主な介護者以外の家族・親族が転職0人 ⑤介護のために仕事を辞めた人はいない46人 (46.5%) ⑥わからない2人 (2.0%)	・介護者の実態把握(生活状況等・介護者の負担軽減の取り組み) ・サービス利用の有無 ・働いていない介護者が全体の62.0%であるためと考える。

B 票 問 2	主な介護者 79人中 ①配偶者25人 (31.6%) ②子41人 (51.9%) ③子の配偶者10人 (12.7%) ④兄弟・姉妹1人 (1.3%) ⑤無回答2人 (2.5%)	
B 票 問 3	介護者の性別 79人中 ①男性 24人 (30.3%) ②女性 54人 (68.4%) ③無回答1人 (1.3%)	
B 票 問 4	介護者の年齢 79人中 ①40歳代5人 (6.3%) ②50歳代13人 (16.5%) ③60歳代33人 (41.8%) ④70歳代14人 (17.7%) ⑤80歳代12人 (15.2%) ⑥無回答2人 (2.5%)	
B 票 問 5	主な介護者の方が行っている介護等は (79人中) 複数回答可 ①日中の排泄9人 (11.4%) ②夜間の排泄7人 (8.9%) ③食事介助10人 (12.7%) ④入浴・洗身18人 (22.8%) ⑤洗顔・歯磨き等18人 (22.8%) ⑥衣服の着脱21人 (26.6%) ⑦屋内の移乗・移動12人 (15.2%) ⑧外出の付き添・送迎等54人 (68.4%) ⑨服薬40人 (50.6%) ⑩認知症の対応23人 (29.1%) ⑪医療面 (経管栄養・ストーマ等) 11人 (13.9%) ⑫食事の準備等50人 (63.3%) ⑬清掃・洗濯・買い物等の家事全般54人 (68.4%) ⑭金銭管理や生活に必要な諸手続き63人 (79.7%) ⑮その他1人 (1.3%)	・日常生活支援の充実 (総合事業) ・成年後見制度の推進、手続き支援
B 票 問 6	主な介護者の方が不安を感じる介護等は (79人中) 複数回答可 ①日中の排泄13人 (16.5%) ②夜間の排泄15人 (19.0%) ③食事介助2人 (2.5%) ④入浴・洗身14人 (17.8%) ⑤洗顔・歯磨き等5人 (6.3%) ⑥衣服の着脱3人 (3.8%) ⑦屋内の移乗・移動8人 (10.1%) ⑧外出の付き添い・送迎等22人 (27.8%) ⑨服薬7人 (8.9%) ⑩認知症への対応30人 (38.0%) ⑪医療 (経管栄養・ストーマ等) 10人 (12.7%) ⑫食事の準備等15人 (18.9%) ⑬清掃・洗濯・買い物等の家事全般9人 (11.4%) ⑭金銭管理や生活に必要な諸手続き16人 (20.3%) ⑮その他3人 (3.8%) ⑯不安を感じていることはない1人 (1.3%) ⑰わからない1人 (1.3%)	・認知症自立度がⅡ a・Ⅱ b・Ⅲ aが79.8%となっていることから、認知症への不安が大きいことと、それに伴い日常生活にも支障をきたしていることから外出の付き添い・送迎も不安要素になっている。 ・日常生活支援事業の充実、支援 (総合事業) ・認知症高齢者の支援 (共生社会の取組)

B 票 問 7	主な介護者の勤務形態 79人中 ①フルタイム15人 (19.0%) ②パートタイム10人 (12.7%) ③働いていない49人 (62.0%) ④無回答5人 (6.3%)	・介護者が60代または70代が多い。 ・家族介護の支援が必要・ショートステイ等の利用
B 票 問 8	B票質問でフルタイム、パートタイムで働いている人 25人中 介護のため、働き方を調整等をしているか 複数回答可 ①行っていない15人 (0.6%) ②労働時間を調整している（残業免除・短時間、遅出・早出等）6人 (0.2%) ③休暇（年休や介護休暇等）で調整している 3人 (0.1%) ④上記②～③以外で調整している 2人 (0.1%) ⑤未回答4人 (0.2%)	・現在の仕事内容により、今後調整が必要も出てくる可能性はある。
B 票 問 9	B票質問でフルタイム、パートタイムで働いている人 25人中 勤め先からどのような支援があれば、介護と両立できるか 3つまで回答可能 ①自営業やフリーランスのため、勤め先はない 10人 (0.4%) ②介護休業や介護休暇の充実 3人 (0.12%) ③②の制度を利用しやすい環境 3人 (0.12%) ④労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制） 3人 (0.12%) ⑤両立における情報提供 4人 (0.16%) ⑥相談窓口設置 1人 (0.04%) ⑦従業員への経済的な支援 6人 (0.24%) ⑧特にない 5人 (0.2%)	・在宅サービスの充実 ・支え合い体制
B 票 問 1 0	B票質問でフルタイム、パートタイムで働いている人 25人中 今後も働きながら介護を続けていけそうか ①問題なく続けていける 7人 (0.28%) ②問題はあるが何とか続けていける 14人 (0.56%) ③やや難しい 1人 (0.04%) ④かなり難しい 2人 (0.08%) ⑤わからない 1人 (0.04%)	・介護の状態が変化すれば、難しくなる可能性もあり、、フリーランスのような職種ばかりでないので、生活相談や状況把握は必要。

在宅生活改善調査 集計結果

2020/06/26
北海道南幌町

発送事業所数：3件
回収事業所数：3件
回収率：100.0%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていない可能性があります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。
(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。
(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【在宅生活改善調査】

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数、②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなかった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

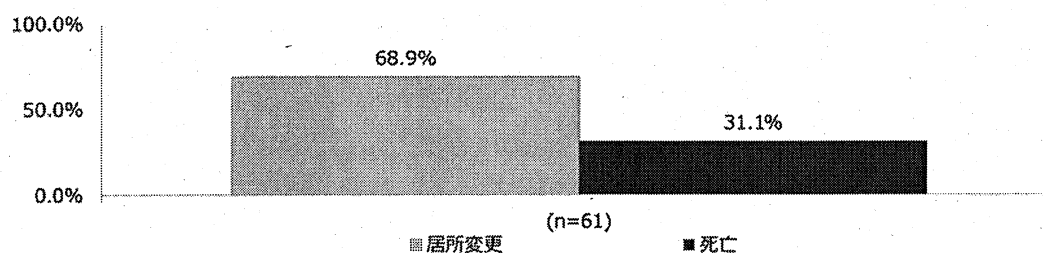
※ 特に生活の維持が難しくなっている理由や、必要な支援・サービスについては、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに関係者間での議論を通じて検討することが重要です。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	0人 0.0%	3人 7.1%	3人 7.1%
住宅型有料老人ホーム	0人 0.0%	1人 2.4%	1人 2.4%
軽費老人ホーム	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サービス付き高齢者向け住宅	2人 4.8%	1人 2.4%	3人 7.1%
グループホーム	8人 19.0%	0人 0.0%	8人 19.0%
特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	5人 11.9%	1人 2.4%	6人 14.3%
療養型・介護医療院	3人 7.1%	1人 2.4%	4人 9.5%
特別養護老人ホーム	11人 26.2%	2人 4.8%	13人 31.0%
地域密着型特別養護老人ホーム	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	1人 2.4%	2人 4.8%	3人 7.1%
行先を把握していない			1人 2.4%
合計		11人 26.2%	42人 100.0%

(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



南幌町全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数 (粗推計)



42人

南幌町全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数 (粗推計)

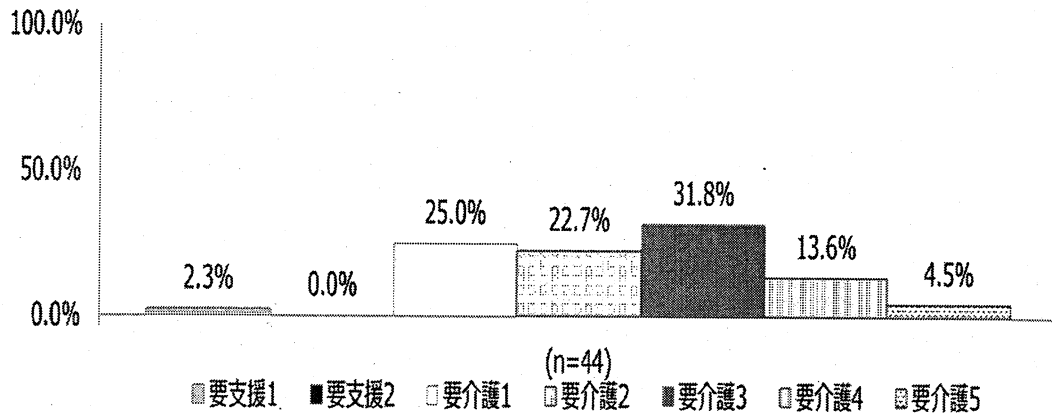


19人

(注1)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

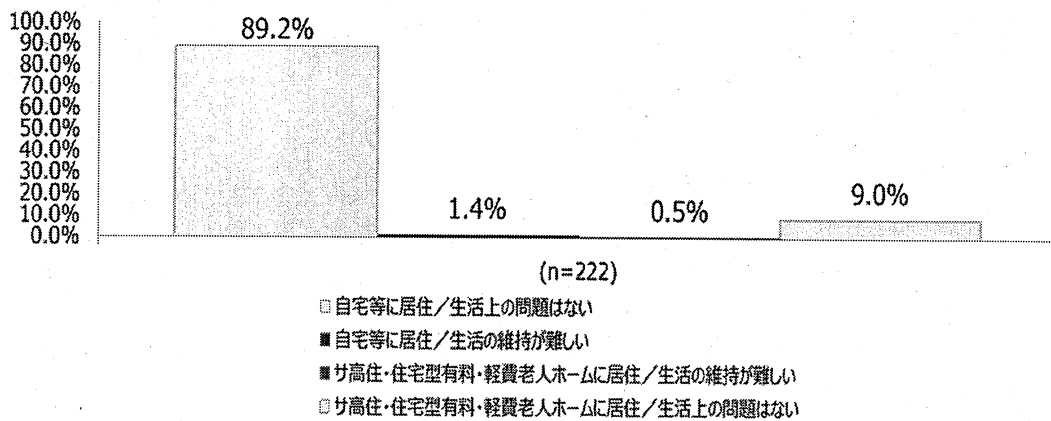
(注2)「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合



1.8%

南幌町全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数（粗推計）



4人

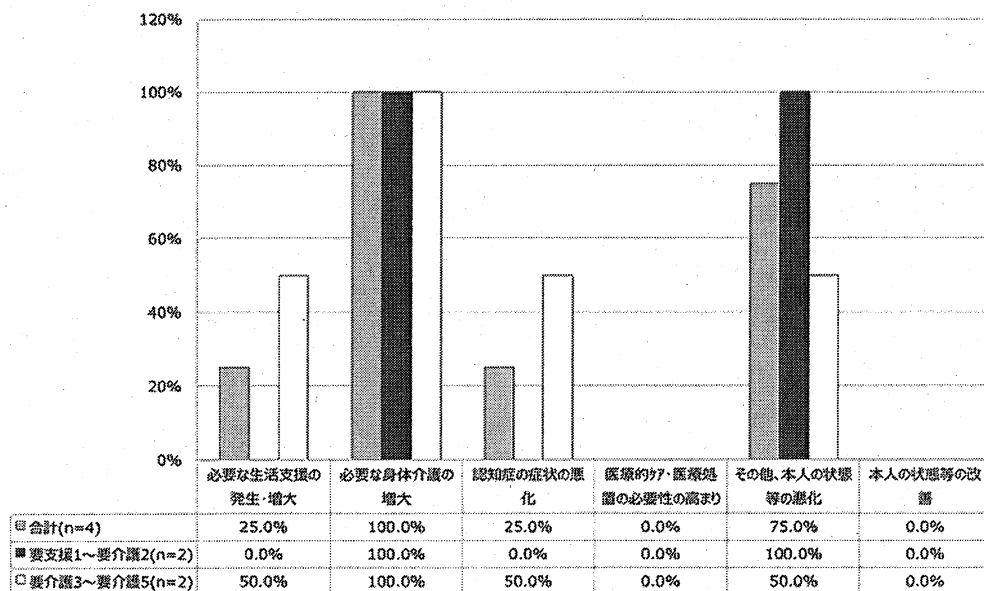
(注)「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10順位)	回答数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・住宅型有料・賃貸	介2以下	介3以上
1	2人	2人	50.0%		★			★			★	
2	1人	1人	25.0%			★		★				★
2	1人	1人	25.0%	★						★		★
4	0人	0人	0.0%				★			★		★
4	0人	0人	0.0%				★			★	★	
4	0人	0人	0.0%				★		★			★
4	0人	0人	0.0%				★	★	★		★	
4	0人	0人	0.0%				★	★			★	
4	0人	0人	0.0%				★	★			★	
4	0人	0人	0.0%			★				★		★
上記以外	0人	0人	0.0%									
合計	4人	4人	100.0%									

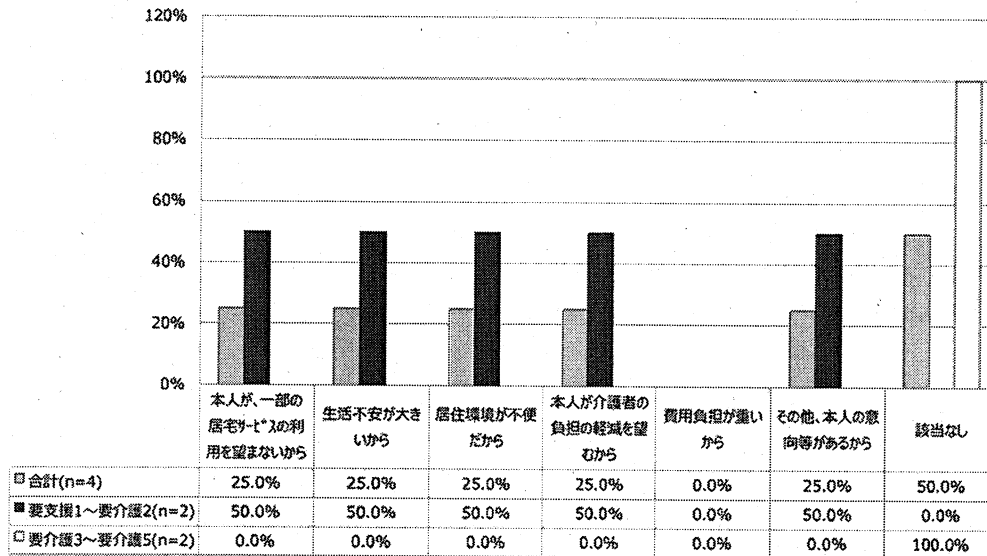
(注)「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の状態に属する理由、複数回答)



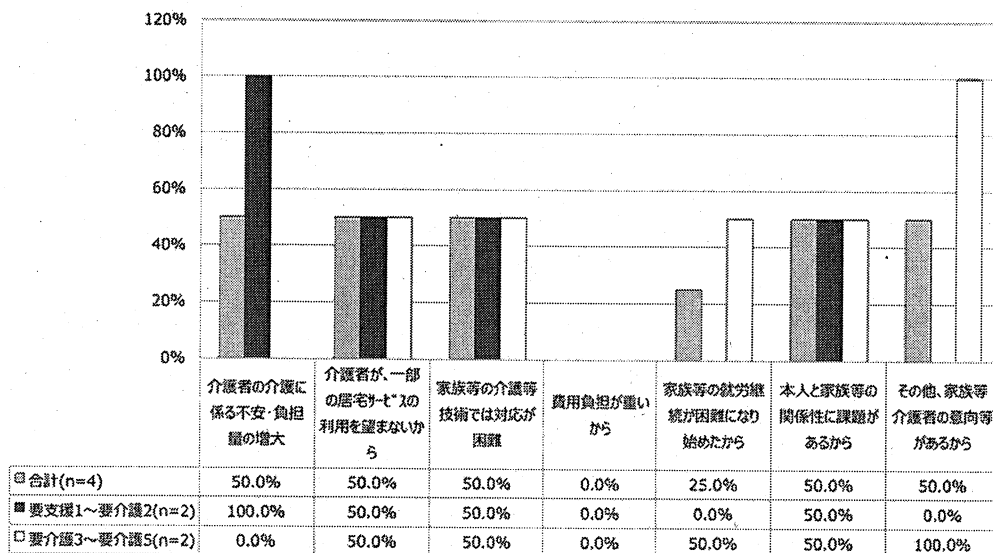
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

**生活の維持が難しくなっている理由
(本人の意向に属する理由、複数回答)**



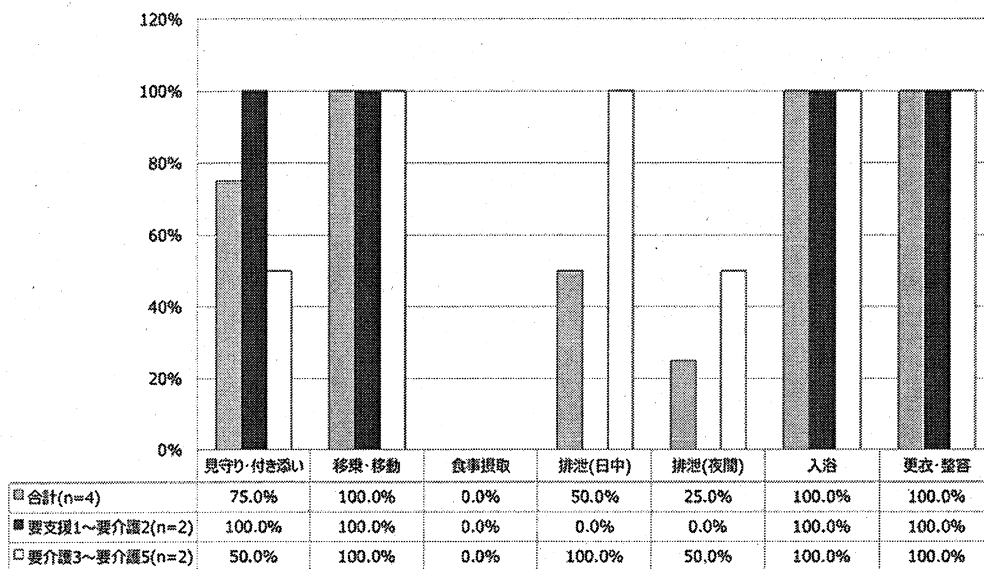
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

**生活の維持が難しくなっている理由
(家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)**



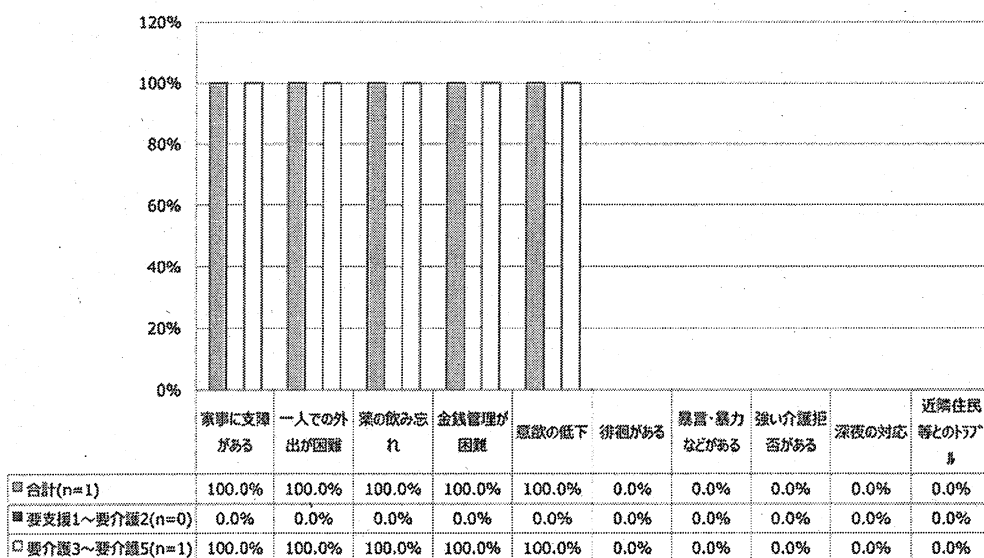
(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注)「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

在宅生活者 222人

在宅生活者数

在宅生活の維持が難しくなっている人 4人 100.0%

その他 218人

改修できるサービス 0人

より適切な住まい・施設等

特養のみ 0人

特養orその他の施設等 0人

その他の施設等 0人

より適切な在宅サービス or 住まい・施設等 3人

より適切な在宅サービス 1人

上記では改修は困難 0人

緊急 0人

緊急 0人

緊急 0人

緊急 0人

緊急 0人

緊急 0人

非緊急 0人

非緊急 0人

非緊急 0人

非緊急 0人

非緊急 0人

特養待機者 0人 0.0%

その他施設等の待機者 0人 0.0%

在宅サービス待機者 4人 100.0%

3サービス

その他在宅

3サービス

その他在宅

(注1)「よく適切な維持が難しく、住まいの施設等」については、選択された「在宅サービスで「住まいの施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2)「生活の維持が難しくなっている」の合計人が4人、上記の分類が可能な人が17人です。分類できない場合は「その他」に算入しています。割合（％）は、4人を母母と算出したものです。

(注3)「非緊急には、緊急度によって入所が望ましいが、しほらは他のサービスも大丈夫」その他と答えた方と無回答の方を含めています。

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の持構者(0人)			在宅サービス持構者(4人)		
住まい・施設等	住宅型有料	0人	0.0%	住宅型有料	0人	0.0%
	サ高住	0人	0.0%	サ高住	0人	0.0%
	軽費老人ホーム	0人	0.0%	軽費老人ホーム	0人	0.0%
	グループホーム	0人	0.0%	グループホーム	0人	0.0%
	特定施設	0人	0.0%	特定施設	0人	0.0%
	介護老人保健施設	0人	0.0%	介護老人保健施設	2人	50.0%
	療養型・介護医療院	0人	0.0%	療養型・介護医療院	2人	50.0%
	特別養護老人ホーム	0人	0.0%	特別養護老人ホーム	1人	25.0%
在宅サービス				ショートステイ	2人	50.0%
				訪問介護、訪問入浴	2人	50.0%
				夜間対応型訪問介護	0人	0.0%
				訪問看護	1人	25.0%
				訪問リハ	1人	25.0%
				通所介護、通所リハ、認知症対応型通所	3人	75.0%
				定期巡回サービス	1人	25.0%
				小規模多機能	0人	0.0%
				看護小規模多機能	0人	0.0%

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者0人、在宅サービス待機者4人を分母として算出したものです。

(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい施設等」と「在宅サービスの両方を回答している場合は、代替が可能としています。

居所変更実態調査 集計結果

2020/06/26

北海道南幌町

発送事業所数：7件

回収事業所数：7件

回収率：100.0%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。
(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。
(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【居所変更実態調査】

調査の目的

- ・居所変更実態調査では、①過去1年間で施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や、②その理由等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能や、外部サービス資源との連携等を検討し、具体的な取組につなげていくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・調査では、各施設・居住系サービスから過去1年間で居所を変更した方の人数と行先、居所変更の理由などを把握しますが、これは、「要介護者が、住み慣れた住まいで暮らし続けることができている」という、地域のビジョンを達成するために、各施設・居住系サービスに「どのような機能が必要か」を検討することが目的となっています。
- ・今後は、介護人材の確保が困難となる地域も多い中、地域の施設・居住系サービスで最後まで暮らし続けるために、「量の拡大」ではなく、どのような「機能の強化」が必要かを検討することが重要になるのではないかと考えています。

注目すべき ポイント

- ・過去1年間で居所を変更した人と、死亡した人は、どの程度いるか？（どの程度の方が、最後までその施設等で暮らし続けることができたのか）
- ・居所を変更する理由として、多いものは何か？（どのような機能を強化することで、その施設等で暮らし続けることができるようになるのか）
- ・各施設・居住系サービスで、各医療処置を受けている人の人数はどの程度か？（各医療処置への対応が可能な施設・居住系サービスはどこか）

※ 特に居所を変更する理由や、必要な機能等については、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに各施設・居住系サービスへのヒアリング調査などを通して把握することが重要です。

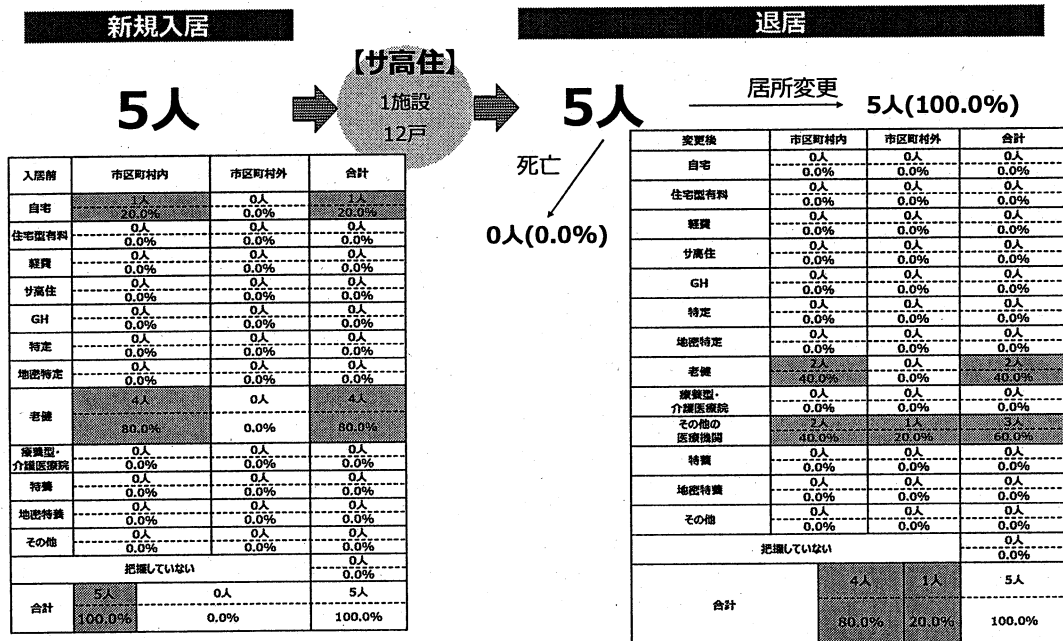
過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合

サービス種別	居所変更	死亡	合計
住宅型有料	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
経費	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
サ高住	5人	0人	5人
(n=1)	100.0%	0.0%	100.0%
GH	10人	1人	11人
(n=4)	90.9%	9.1%	100.0%
特定	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
地密特定	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
老健	76人	0人	76人
(n=1)	100.0%	0.0%	100.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
特養	24人	10人	34人
(n=1)	70.6%	29.4%	100.0%
地密特養	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%
合計	115人	11人	126人
(n=7)	91.3%	8.7%	100.0%



注目すべきポイント
・看取りまでできているのはどの住まいか？

過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ



過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ

新規入所

11人

【グループホーム】

4施設
定員45人

死亡

1人(9.1%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	3人	0人	3人
	27.3%	0.0%	27.3%
住宅型有料	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
経費	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
サ高住	1人	0人	1人
	9.1%	0.0%	9.1%
GH	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
施設特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
老健	4人	0人	4人
	36.4%	0.0%	36.4%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
特養	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
施設特養	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3人	0人	3人
	27.3%	0.0%	27.3%
把握していない			0人
			0.0%
合計	11人	0人	11人
	100.0%	0.0%	100.0%

退所

11人

居所変更

10人(90.9%)

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
住宅型有料	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
経費	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
サ高住	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
GH	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
施設特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
老健	1人	0人	1人
	10.0%	0.0%	10.0%
療養型・介護医療院	1人	0人	1人
	10.0%	0.0%	10.0%
その他の医療機関	3人	2人	5人
	30.0%	20.0%	50.0%
特養	3人	0人	3人
	30.0%	0.0%	30.0%
施設特養	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
把握していない			0人
			0.0%
合計	8人	2人	10人
	80.0%	20.0%	100.0%

過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ

新規入所

72人

【老健】

1施設
定員70人

死亡

0人(0.0%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	13人	15人	28人
	18.1%	20.8%	38.9%
住宅型有料	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
経費	0人	1人	1人
	0.0%	1.4%	1.4%
サ高住	0人	2人	2人
	0.0%	2.8%	2.8%
GH	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
施設特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
老健	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
特養	1人	0人	1人
	1.4%	0.0%	1.4%
施設特養	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	31人	43人	74人
	43.1%	58.1%	74.0%
把握していない			0人
			0.0%
合計	23人	49人	72人
	31.9%	68.1%	100.0%

退所

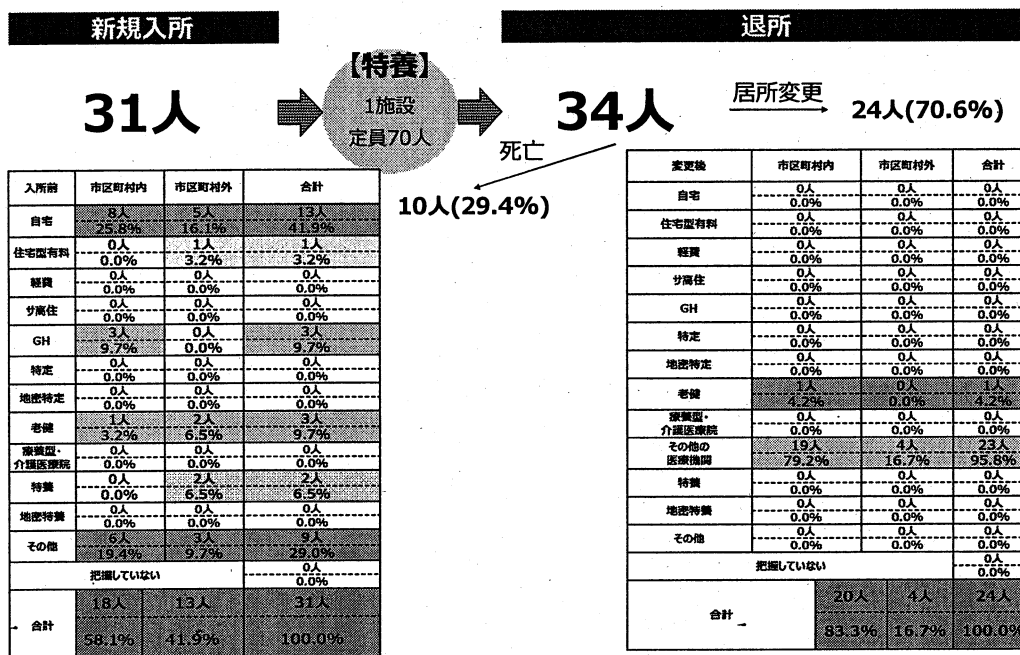
76人

居所変更

76人(100.0%)

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	14人	17人	31人
	18.4%	22.4%	40.8%
住宅型有料	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
経費	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
サ高住	2人	7人	9人
	2.6%	9.2%	11.8%
GH	3人	2人	5人
	3.9%	2.6%	6.6%
特定	0人	2人	2人
	0.0%	2.6%	3.3%
施設特定	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
老健	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他の医療機関	6人	15人	21人
	7.9%	19.7%	27.6%
特養	1人	6人	7人
	1.3%	7.9%	9.2%
施設特養	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1人	0人	1人
	1.3%	0.0%	1.3%
把握していない			0人
			0.0%
合計	27人	49人	76人
	35.5%	64.5%	100.0%

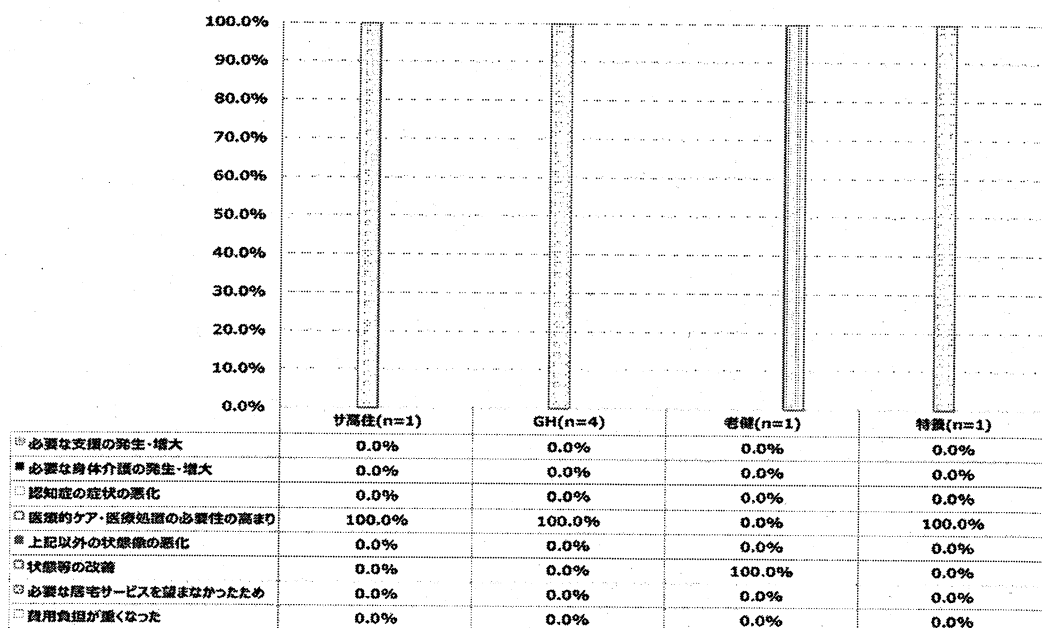
過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



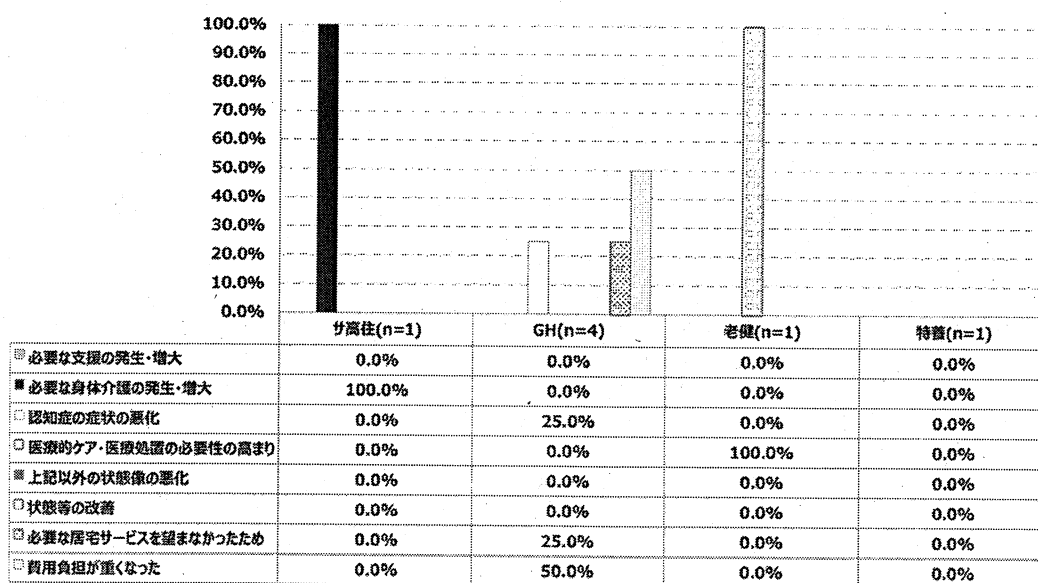
居所変更した人の要支援・要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中	合計
住宅型有料	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
軽費	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サ高住	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	5人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
GH	0人	0人	0人	0人	2人	5人	2人	1人	0人	10人
(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%
特定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域特定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
老健	0人	0人	0人	19人	22人	9人	15人	11人	0人	76人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	28.9%	11.8%	19.7%	14.5%	0.0%	100.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特養	0人	0人	0人	0人	0人	5人	9人	10人	0人	24人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	37.5%	41.7%	0.0%	100.0%
地域特養	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	0人	0人	0人	19人	27人	20人	27人	22人	0人	115人
(n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	16.5%	23.5%	17.4%	23.5%	19.1%	0.0%	100.0%

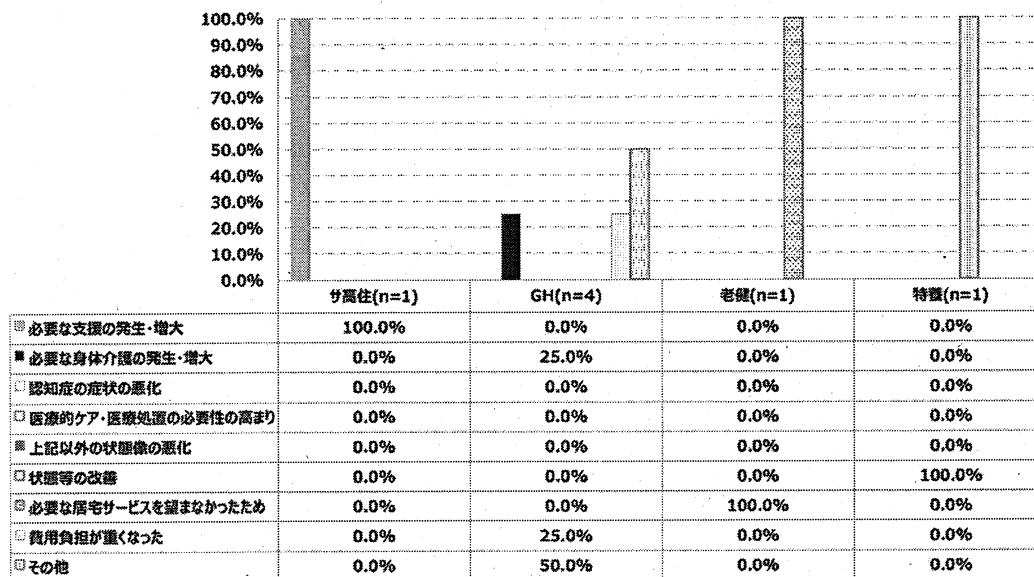
居所変更した理由（第1位）



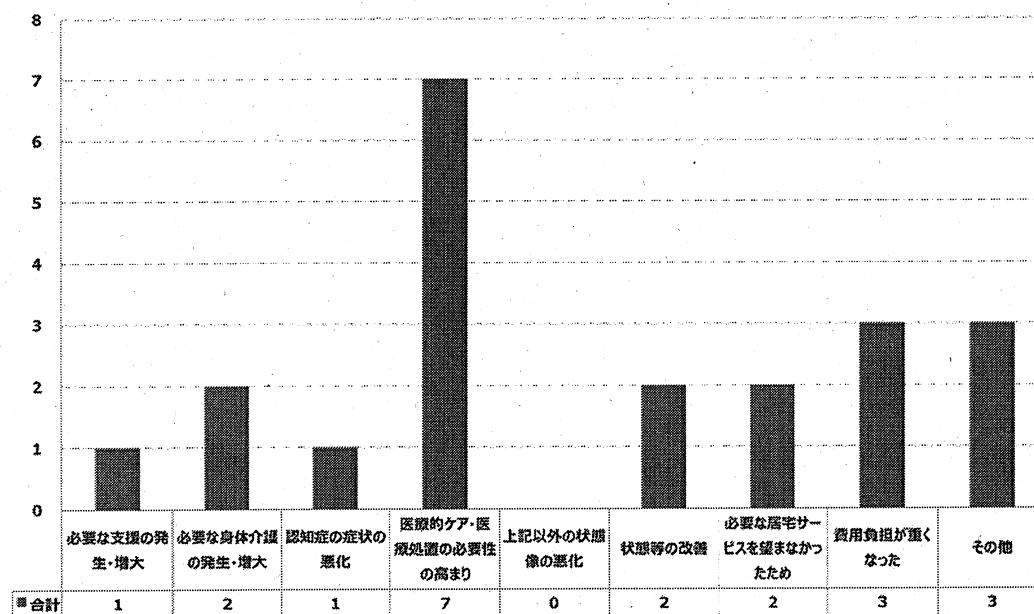
居所変更した理由（第2位）



居所変更した理由（第3位）



居所変更した理由（n=7、順位不問、複数回答）



受けている医療処置別の入所・入居者数

サービス種別	点滴の 管理	中心静脈 栄養	透析	ストマの 処置	経鼻挿入 法	レス・レー ン	気管切開の 処置	疼痛の 看護	経管栄養	ミナ・測定	褥瘡の 処置	けいふ	喀痰吸引	インサ注射
住宅型有料	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経腸	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護住	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
GH	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人
(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
特定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
施設特定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
老健	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
療養型・介護医療院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特養	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	3人	6人	1人	2人
(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	4.2%	8.5%	1.4%	2.8%	2.8%
施設特養	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	7人	0人	3人	8人	1人	3人	3人
(n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	1.6%	4.1%	0.5%	1.6%	1.6%

(注) 割合は各セルの人数を施設等ごとの入居・入所者数で除して算出しています。

介護人材実態調査 集計結果

2020/08/20
北海道南幌町

発送事業所数：12件
回収事業所数：12件
回収率：100.0%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていない場合があります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。
(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。
(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

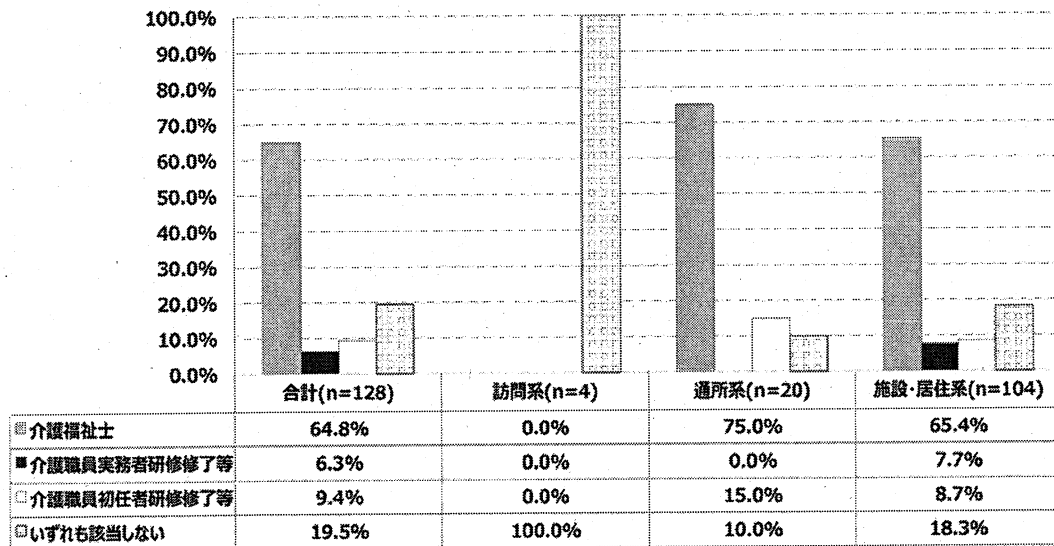
調査の概要

- ・アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

注目すべきポイント

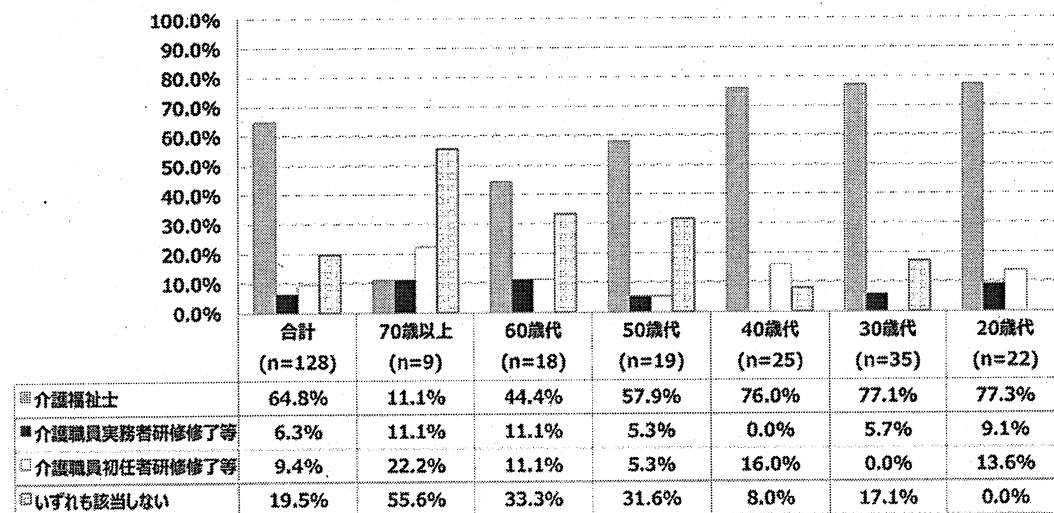
- ・サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

サービス系統別の資格保有の状況



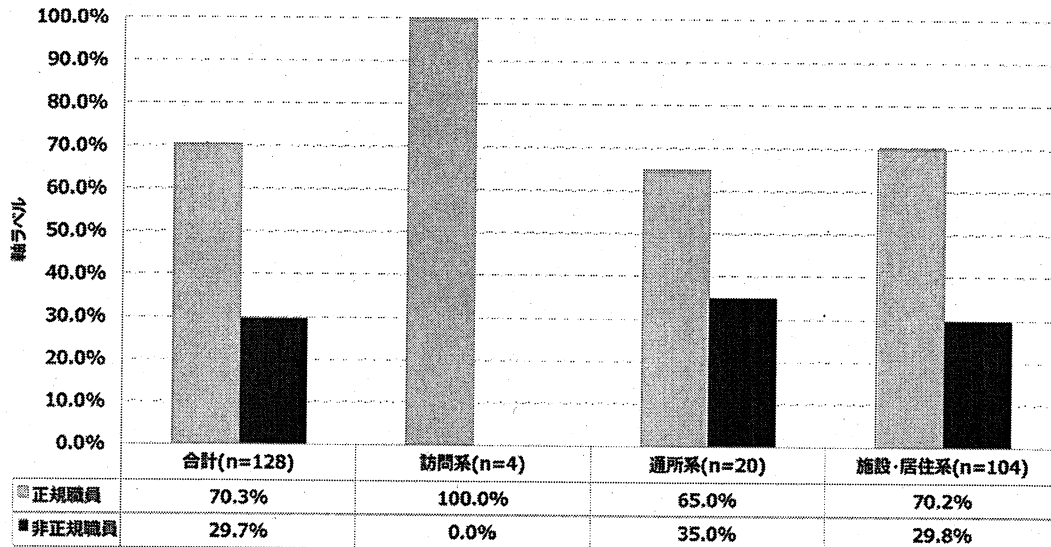
(注)「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

年齢別の資格保有の状況



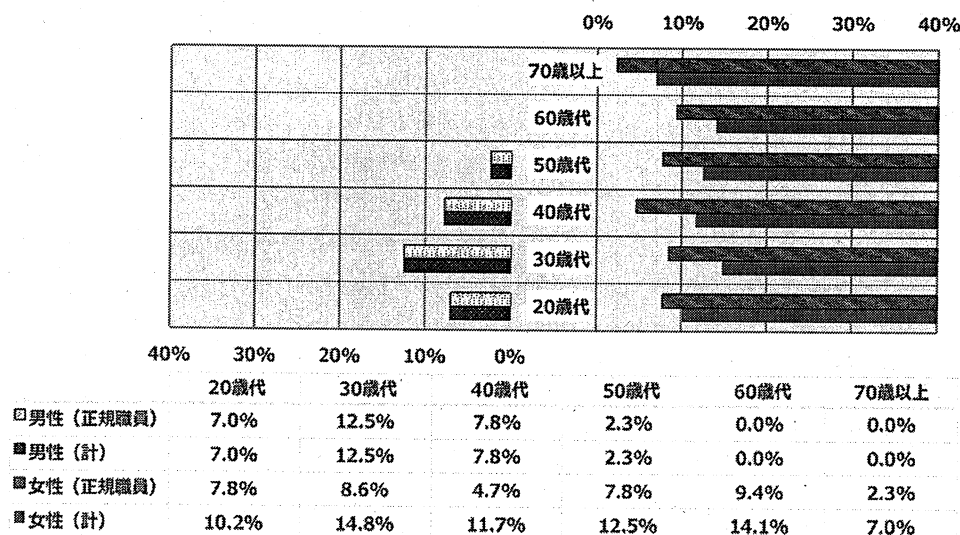
(注)「合計」には年齢不詳の方を含めています。

サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合



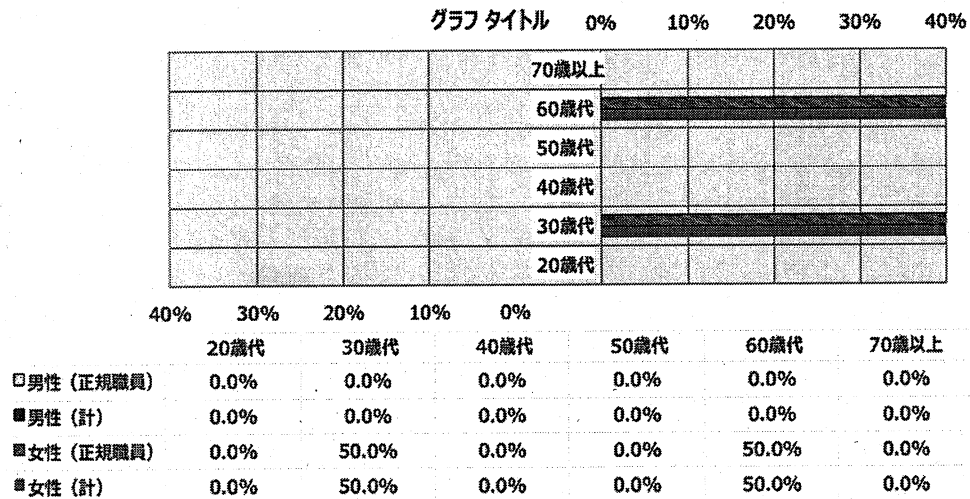
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比 (全サービス系統合計、n=128)



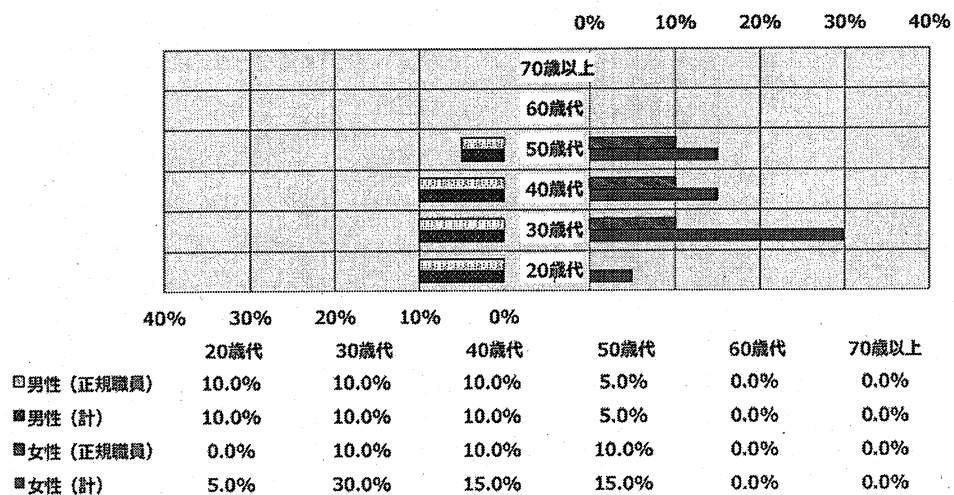
(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=4）



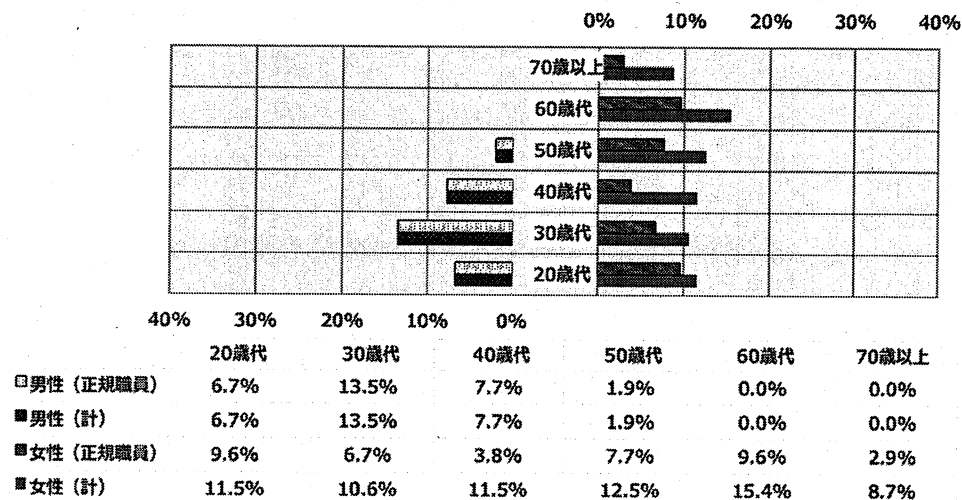
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=20）



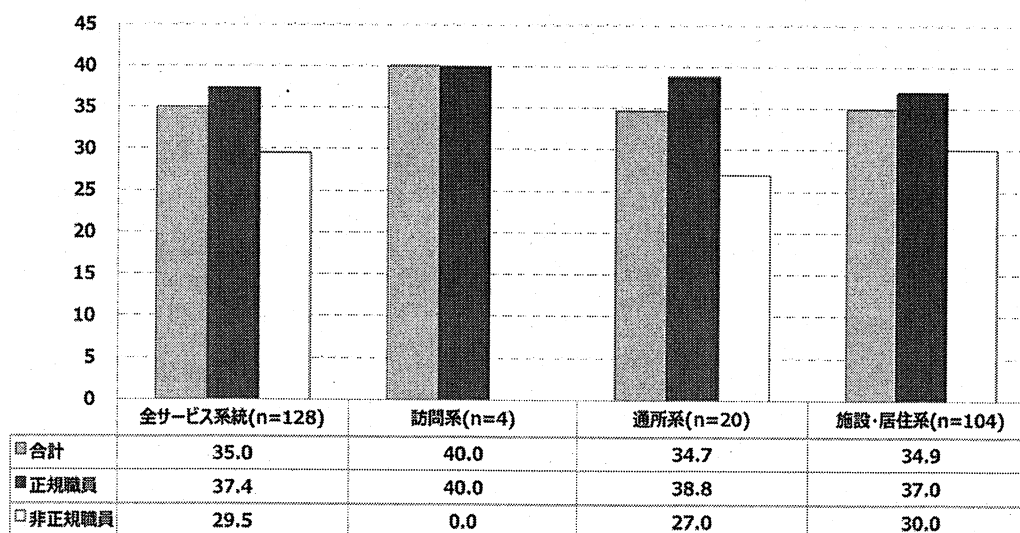
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=104）



（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



（注）「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。また、「全サービス系統」にはサービス系統不詳の方を含めています。

介護職員数の変化

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統(n=12)	94人	44人	138人	20人	8人	28人	13人	5人	18人	108.0%	107.3%	107.8%
訪問系(n=2)	8人	6人	14人	2人	1人	3人	0人	1人	1人	133.3%	100.0%	116.7%
通所系(n=3)	13人	7人	20人	2人	1人	3人	2人	0人	2人	100.0%	116.7%	105.3%
施設・居住系(n=7)	73人	31人	104人	16人	6人	22人	11人	4人	15人	107.4%	106.9%	107.2%

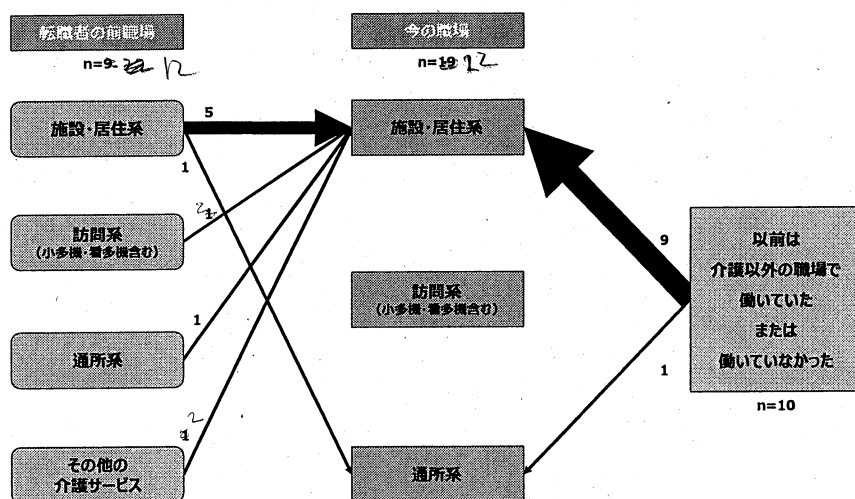
前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	12人	100.0%	0人	0.0%	1人	100.0%	11人	100.0%
同一市区町村	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
他の市区町村	12人	100.0%	0人	0.0%	1人	100.0%	11人	100.0%

(注) 上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

•

過去1年間の介護職員の職場の変化
(同一法人・グループ内での異動は除く)



(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

第8期計画において記載を充実する事項(案)

■ 第8期の基本指針においては、介護保険部会の「介護保険制度の見直しに関する意見」を踏まえて、以下について記載を充実してはどうか。

1 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備

○2025・2040年を見据え、地域ごとの推計人口等から導かれる介護需要等を踏まえて計画を策定

※基盤整備を検討する際、介護離職ゼロの実現に向けたサービス基盤整備、地域医療構想との整合性（病床の機能分化及び連携に伴い生じるサービス必要量に関する整合性の確保）を踏まえる必要がある旨は第7期から記載。

※指定介護療養型医療施設の設置期限（2023年度末）までに確実な転換等を行うための具体的な方策について記載。

※第8期の保険料を見込むに当たっては直近（2020年4月サービス分以降）のデータを用いる必要がある。

2 地域共生社会の実現

○地域共生社会の実現に向けた考え方や取組について記載

3 介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）

○一般介護予防事業の推進に関して「PDCAサイクル沿った推進」、「専門職の関与」、「他の事業との連携」について記載

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について記載

○自立支援、介護予防・重度化防止に向けた取り組みの例示として就労的活動等について記載

○総合事業の対象者や単価の弾力化を踏まえて計画を策定

○保険者機能強化推進交付金等を活用した施策の充実・推進について記載。（一般会計による介護予防等に資する独自事業等について記載。）

○在宅医療・介護連携の推進について、看取りや認知症への対応強化等の観点を踏まえて記載

○要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標については国で示す指標を参考に計画に記載

○PDCAサイクルに沿った推進にあたり、データの利活用を進めることやそのための環境整備について記載

4 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化

○住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を記載

○整備に当たっては、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を勘案して計画を策定

5 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

○認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、5つの柱に基づき記載。（普及啓発の取組やチームオレンジの設置及び「通いの場」の拡充等について記載。）

○教育等他の分野との連携に関する事項について記載

6 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化

○介護職員に加え、介護分野で働く専門職を含めた介護人材の確保の必要性について記載

○介護現場における業務仕分けやロボット・ICTの活用、元気高齢者の参入による業務改善など、介護現場革新の具体的な方策を記載

○総合事業等の担い手確保に関する取組の例示としてボランティアポイント制度等について記載

○要介護認定を行う体制の計画的な整備を行う重要性について記載

○文書負担軽減に向けた具体的な取組を記載

7 災害や感染症対策に係る体制整備

○近年の災害発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、これらへの備えの重要性について記載

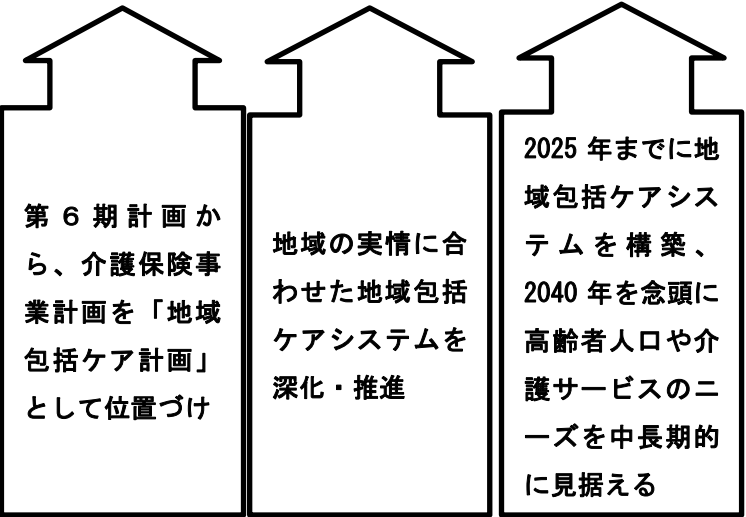
第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本指針について

- 都道府県及び市町村は、基本指針に即して、1 期 3 年とする介護保険事業計画を定めることとされており、基本指針は計画作成上のガイドラインの役割を果たしている。
- 高齢化の進展に対応するため、2025 年を目指し引き続き地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組み、現役世代人口が急減する 2040 年を念頭に、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据え、社会の活動維持向上や医療・介護サービスの確保を図っていくことが求められる。

↓ 団塊の世代が 65 歳

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
計画期間	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期			第 5 期			第 6 期			第 7 期			第 8 期		
基準月額 保険料	4, 200 円			4, 550 円			3, 800 円			3, 700 円			3, 917 円			4, 983 円			5, 408 円			円		

- 【参考】 第 3 期：団塊の世代が 65 歳に達する平成 26 年度を見据えた目標値を設定
 第 4 期：中間的段階の位置づけ
 第 5 期：地域包括ケアの実現のため、さらなる中長期的な目標を設定
 第 6 期：団塊の世代が 75 歳になる 2025 年までの中長期的なサービス、
 給付、保険料の水準を推計
 第 7 期：第 6 期で目指した目標や施策を踏まえ、地域包括ケアシステムの深化・推進
 を図るとともに、自立支援・重症化防止等に関する取組を設定



第8期南幌町介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画 構成（案）

1 計画の基本理念

→ 第7期計画を基本として「高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で、自分らしい生活を**最期まで**送ることができるまち」とする。

2 計画の基本方針

→ 第7期計画の基本方針を踏襲し、表現については、

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| （1）介護給付等対象サービスの充実・強化 | （2）在宅医療と介護連携の支援体制の推進 |
| （3）介護予防と 健康づくりの推進 | （4）日常生活を支援する地域づくりの推進 |
| （5）安心して生活できる住まいの確保 | （6）認知症高齢者支援の推進 |
| （7） 災害や感染症対策の整備 | |

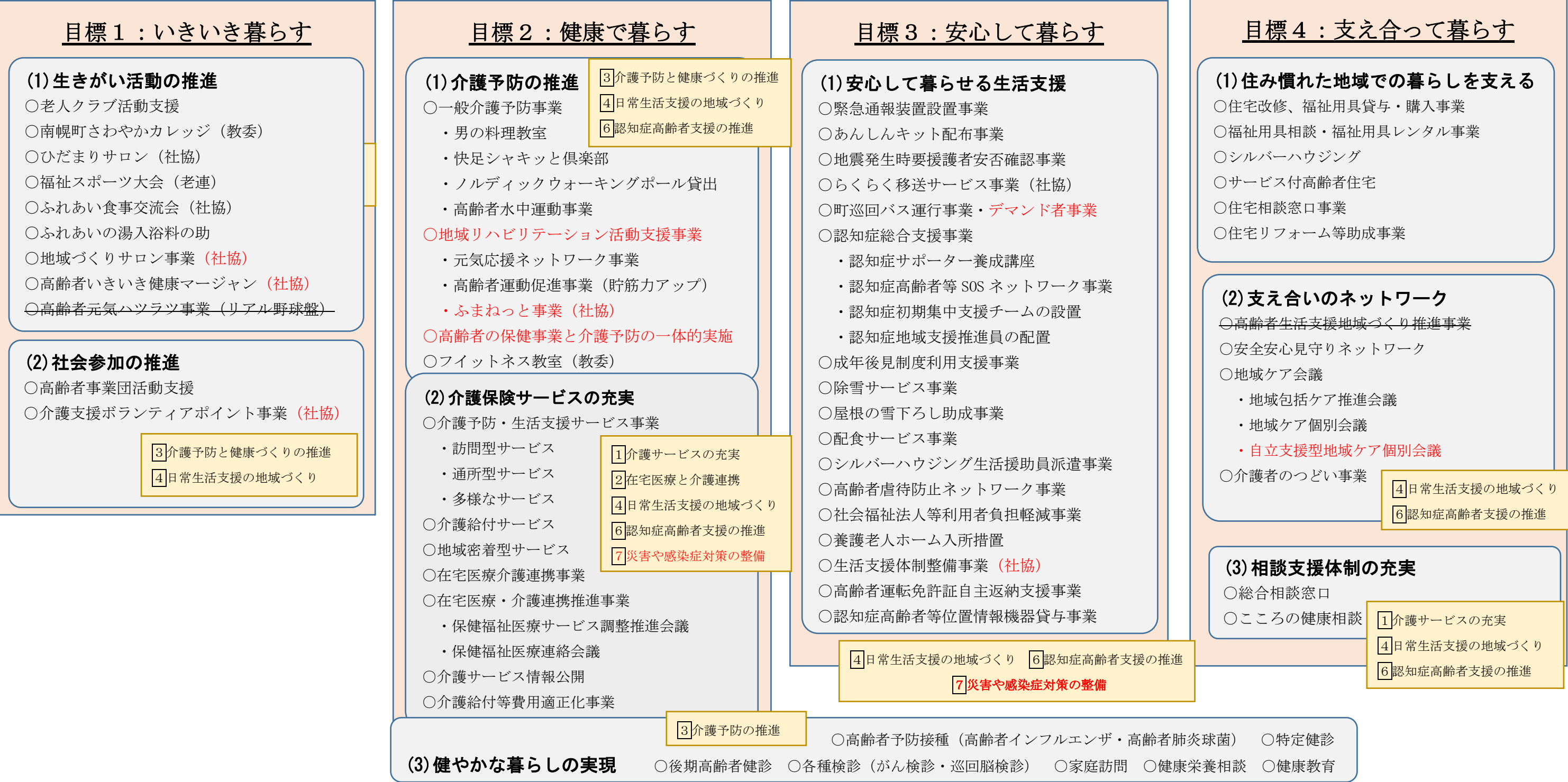
3 計画構成（案）及び体系図 → 別紙のとおり

★参考資料：南幌町の介護保険事業と地域支援事業と高齢者福祉施策の現状～別紙のとおり

第8期計画の体系（※計画期間中の新規事業含む）

★基本理念 ～ 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康で自分らしい生活を**最期まで**送ることのできるまち

基本方針	～ 地域包括ケアシステムの構築を推進するために ～						
	1 介護給付等対象サービスの充実・強化	2 在宅医療と介護連携の支援体制の推進	3 介護予防の推進と健康づくりの推進	4 日常生活を支援する地域づくりの推進	5 安心して生活できる住まいの確保	6 認知症高齢者支援の推進	7 災害や感染症対策の整備



南幌町の介護保険事業と地域支援事業と高齢者福祉施策（案）

区 分		サービス・事業内容（実施している事業所名・事業名）	
介護・介護予防給付	要介護 1～5	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム南幌みどり苑／※介護3以上）／短期入所生活介護（ショートステイ） 介護老人保健施設（介護老人保健施設ゆう）／短期入所療養介護（ショートステイ） 訪問介護（訪問介護ステーションおひさま、ほか町外指定事業所） 通所介護（南幌みどり苑デイサービスセンター、ほか町外指定事業所） 訪問看護（訪問看護ステーションマーガレット） 通所リハビリテーション（介護老人保健施設ゆう） 訪問リハビリステーションRe・ハッスル（介護老人保健施設ゆう）平成30年4月 訪問リハビリテーション（町立南幌病院）令和2年6月 認知症対応型通所介護（デイサービスセンターみどり野） 認知症対応型共同生活介護（福音の家・鶴城の郷・みどり野の郷・なかま） 福祉用具貸与・販売（町外事業所） 住宅改修（町外事業所）	
	要支援 1・2	短期入所生活介護（ショートステイ）（特別養護老人ホーム南幌みどり苑） 短期入所療養介護（ショートステイ）（介護老人保健施設ゆう） 訪問看護（訪問看護ステーションマーガレット） 通所リハビリテーション（介護老人保健施設ゆう） 訪問リハビリステーションRe・ハッスル（介護老人保健施設ゆう） 訪問リハビリテーション（町立南幌病院） 認知症対応型通所介護（デイサービスセンターみどり野） 認知症対応型共同生活介護（福音の家・鶴城の郷・みどり野の郷・なかま） 福祉用具貸与・販売（町外事業所） 住宅改修（町外事業所）	
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業 		

高齡者福祉又は 高齡者に関する サービス・事業	町	■あんしんキット配布事業 ■緊急通報装置設置事業 ■除雪サービス事業 ■高齡者等屋根雪下し助成事業 ■ふれあいの湯入浴料割引 ■高齡者インフルエンザ予防接種事業 ■肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成事業 ■移動支援事業 ■高齡者運転免許証自主返納支援事業
	教 育 委 員 会	■南幌町さわやかカレッジ
	社 会 福 祉 協 議 会	■ひだまりサロン ■ふれあい食事交流会 ■らくらく移送サービス事業
	老 人 ク ラ ブ 連 合 会	■福祉スポーツ大会 ■パークゴルフ大会 ■ゴロツケーゴルフ交流会

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

○経緯

経済財政運営と改革の基本方針２０１８（平成３０年６月１５日閣議決定）において、「高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防、就労・社会参加支援を都道府県等と検討しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す」とされたことを踏まえ、厚生労働省は、平成３０年９月に有識者会議を立ち上げ、１２月に報告書を取りまとめた。

○保健事業と介護予防の現状と課題

保健事業については、本人の特性や状況に対応した切れ目のない支援を行うことが望ましいが、現制度においては、７５歳になるとそれまで加入していた国民健康保険制度等から後期高齢者医療制度の被保険者に異動することになり、保険者間の断絶が生じているため、取組を接続させていく必要がある。

また、介護予防においては、保健医療の視点を取り入れている事例は少なく、こうした視点からの取組を進めることが必要である。

さらに、高齢者の特性を踏まえた健康支援として、今後、フレイル（虚弱）対策を推進する必要があると、栄養、運動、社会参加の観点から取組を検討しなければならない。社会参加という面では、保健事業と介護予防の地域支援事業等との連携も必要である。

○一体的実施についての方向性

- ・市町村が中心となって、後期高齢者などを対象に介護保険の地域支援事業と後期高齢者医療広域連合の保健事業を一体的に実施する。
- ・具体的には、健康づくり教室などの通いの場で、保健師等の医療専門職が関与し、保健医療の視点から受診勧奨を行うなど、フレイル対策、疾病予防といった高齢者の特性に応じたサービスに結びつける。
- ・経費は、広域連合が高齢者の保険料と特別調整交付金を財源として、市町村に交付する。
- ・２０２０年度からの本格実施を予定しており、健康保険法等一部改正案が次期通常国会に提出予定である。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について（スキーム図）

高齢者の心身に関する多様な課題に対応するため、後期高齢者の保健事業について、広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。

国（厚生労働省）

- 保健事業の指針において、一体的実施の方向性を明示。
- 具体的な支援メニューをガイドライン等で提示。
- 特別調整交付金の交付、先進事例に係る支援。

＜市町村が、介護の地域支援事業・国保の保健事業との一体的な取組を実施＞

広域連合

- 広域計画に、広域連合と市町村の連携内容を規定。
- データヘルス計画に、事業の方向性を整理。
- 専門職の人件費等の費用を交付。

市町村

- 広域計画等を踏まえ、事業実施計画を作成。
- 市町村が、介護の地域支援事業・国保の保健事業との一体的な取組を実施。
（例）データ分析、アウトリーチ支援、通いの場への参画、支援メニューの改善 等
- 広域連合に被保険者の医療情報等の提供を求めることができる。
- 地域ケア会議も活用。

必要な援助

都道府県への
報告・相談

都道府県
（保健所含む）

○事例の横展開、県内の健康課題の俯瞰的把握、事業の評価 等

国保中央会
国保連合会

○データ分析手法の研修・支援、実施状況等の分析・評価 等

三師会等の
医療関係団体

○取組全体への助言、かかりつけ医等との連携強化 等

事業の一部を民間
機関に委託できる。

（市町村は事業の
実施状況を把握、
検証）

市町村における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について（イメージ図）

市町村が一体的に実施

④多様な課題を抱える高齢者や、閉じこもりがちで健康状態の不明な高齢者を把握し、アウトリーチ支援等を通じて、必要な医療サービスに接続。

国保中央会・国保連が分析マニュアル作成・市町村職員への研修等を実施。

医療・介護データ解析

- ②高齢者一人ひとりの医療・介護等の情報を一括把握
- ③地域の健康課題を整理・分析

医療
レセ

特定
健診

介護
レセ

要介護
認定

フレイル
状態の
チェック



- ①事業全体のコーディネートやデータ分析・通いの場への積極的関与等を行うため、市町村が、地域に保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の医療専門職を配置

経費は広域連合が交付
(保険料財源＋
特別調整交付金)

保健事業

- ⑤国民健康保険と後期高齢者医療制度の保健事業を接続。

疾病予防・ 重症化予防

- ⑥社会参加を含むフレイル対策を視野に入れた取組へ。

- ⑦医療専門職が、通いの場等にも積極的に関与

介護予防の事業等

生活機能の改善

- ⑨民間機関の連携等、通いの場の大幅な拡充や、個人のインセンティブとなるポイント制度等を活用

かかりつけ医等

- ⑧通いの場への参加勧奨や、事業内容全体等への助言を実施。

- ⑩通いの場に、保健医療の視点からの支援が積極的に加わることで、
- ・通いの場や住民主体の支援の場で、専門職による健康相談等を受けられる。
 - ・ショッピングセンターなどの生活拠点等を含め、日常的に健康づくりを意識できる魅力的な取組に参加できる。
 - ・フレイル状態にある者等を、適切に医療サービスに接続。

高齢者

※フレイルのおそれのある高齢者全体を支援。

保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)

医療保険

被用者保険の保健事業 (健保組合、協会けんぽ)

- 特定健診、特定保健指導
- 任意で、人間ドック
- 重症化予防(糖尿病対策等)
保険者により、糖尿病性腎症の患者等に対して、医療機関と連携した受診勧奨・保健指導等の実施。
- 健康経営の取組
 - ・ 保険者と事業主が連携した受動喫煙対策や職場の動線を利用した健康づくりの実施。
 - ・ 加入者の健康状態や医療費等を見える化した健康スコアリングレポート等の活用。

退職等

国民健康保険の 保健事業(市町村)

- 特定健診、特定保健指導
- 任意で、人間ドック
- 重症化予防(糖尿病対策等)
 - ・ 保険者により、糖尿病性腎症の患者等に対して、医療機関と連携した受診勧奨・保健指導等の実施。
- 市町村独自の健康増進事業等と連携した取組

75歳

後期高齢者広域連合の 保健事業 (広域連合。市町村に委託・補助)

- 健康診査のみの実施がほとんど
- 一部、重症化予防に向けた個別指導等も実施

国保と後期高齢者の
保健事業の接続の必要性
(現状は、75歳で断絶)

○フレイル状態に着目した
疾病予防の取組の必要性
(運動、口腔、栄養、社会参加
等のアプローチ)

保健事業と介護予防の
一体的な実施(データ分析、
事業のコーディネート等)

65歳

介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業等(市町村)

- 一般介護予防事業(住民主体の通いの場)
- 介護予防・生活支援サービス事業
訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス(配食等)、生活予防支援事業(ケアマネジメント)

→保健事業との連携による支援メニューの充実の必要性

介護保険

第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画 総人口推計値

資料7

単位:人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期南幌町総合計画(2017年～2026年)	8,039	7,959	7,873	7,788	7,702
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」	7,326	7,176	7,039	6,901	6,764
南幌町人口実数	7,481	7,464			

